

平成29年陸別町議会9月定例会会議録（第2号）

招集の場所	陸別町役場議場					
開閉会日時 及び宣告	開会	平成29年9月13日 午前10時00分			議長	宮川 寛
	閉会	平成29年9月13日 午後3時27分			議長	宮川 寛
応（不応）招議員及び出席並びに欠席議員 出席 8人 欠席 0人 凡例 ○ 出席を示す ▲ 欠席を示す × 不応招を示す ▲㊟ 公務欠席を示す	議席番号	氏名	出席等の別	議席番号	氏名	出席等の別
	1	中村佳代子	○	8	宮川 寛	○
	2	久保広幸	○			
	3	多胡裕司	○			
	4	本田 学	○			
	5	山本厚一	○			
	6	渡辺三義	○			
	7	谷 郁 司	○			
会議録署名議員	山本厚一		渡辺三義			
職務のため議場に出席した者の職氏名	事務局長 吉田 功			主任主査 吉田利之		
法第121条の規定により出席した者の職氏名	町 長	野尻秀隆		教育長	野下純一	
	監査委員	飯尾清		農業委員長（議員兼職）	多胡裕司	
町長の委任を受けて出席した者の職氏名	副町長	佐々木敏治		会計管理者	阿部 博	
	総務課長	早坂政志		町民課長	芳賀 均	
	産業振興課長	副島俊樹		建設課長	高橋 豊	
	保健福祉センター次長	丹野景広		国保児童診療所事務長	（丹野景広）	
	総務課参事	高橋直人		総務課主幹	空井猛壽	
教育長の委任を受けて出席した者の職指名	教委次長	有田勝彦				
農業委員会会長の委任を受けて出席した者の職氏名	農委事務局長	棟方勝則				
議 事 日 程	別紙のとおり					
会議に付した事件	別紙のとおり					
会議の経過	別紙のとおり					

◎議事日程

日程	議案番号	件名
1		会議録署名議員の指名
2	議案第70号	平成28年度陸別町一般会計歳入歳出決算認定について
3	議案第71号	平成28年度陸別町国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳出決算認定について
4	議案第72号	平成28年度陸別町国民健康保険直営診療施設勘定特別会計歳入歳出決算認定について
5	議案第73号	平成28年度陸別町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
6	議案第74号	平成28年度陸別町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
7	議案第75号	平成28年度陸別町介護保険事業勘定特別会計歳入歳出決算認定について
8	議案第76号	平成28年度陸別町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について

◎会議に付した事件

議事日程のとおり

◎開議宣告

○議長（宮川 寛君） これより、本日の会議を開きます。

◎日程第 1 会議録署名議員の指名

○議長（宮川 寛君） 日程第 1 会議録署名議員の指名を行います。
会議録署名議員は、5 番山本議員、6 番渡辺議員を指名します。

- ◎日程第 2 議案第 70 号平成 28 年度陸別町一般会計歳入歳出決算認定について
 - ◎日程第 3 議案第 71 号平成 28 年度陸別町国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳出決算認定について
 - ◎日程第 4 議案第 72 号平成 28 年度陸別町国民健康保険直営診療施設勘定特別会計歳入歳出決算認定について
 - ◎日程第 5 議案第 73 号平成 28 年度陸別町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
 - ◎日程第 6 議案第 74 号平成 28 年度陸別町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
 - ◎日程第 7 議案第 75 号平成 28 年度陸別町介護保険事業勘定特別会計歳入歳出決算認定について
 - ◎日程第 8 議案第 76 号平成 28 年度陸別町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
-

○議長（宮川 寛君） 日程第 2 議案第 70 号平成 28 年度陸別町一般会計歳入歳出決算認定についてから、日程第 8 議案第 76 号平成 28 年度陸別町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定についてまで、7 件を一括議題とします。

提案理由の説明を求めます。

野尻町長。

○町長（野尻秀隆君）〔登壇〕 議案第 70 号平成 28 年度陸別町一般会計歳入歳出決算認定について、続きまして、議案第 71 号平成 28 年度陸別町国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳出決算認定について、続きまして、議案第 72 号平成 28 年度陸別町国民健康保険直営診療施設勘定特別会計歳入歳出決算認定について、続きまして、議案第 73 号平成 28 年度陸別町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について、続きまして、議案第

74号平成28年度陸別町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について、続きまして、議案第75号平成28年度陸別町介護保険事業勘定特別会計歳入歳出決算認定について、続きまして、議案第76号平成28年度陸別町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について、以上、議案第70号から議案第76号まで7件一括して、別紙監査委員の意見を付しまして、議会の認定を求めるものであります。

内容につきましては、副町長のほうから説明いたしますので、御審議のほどよろしくお願い申し上げます。

○議長（宮川 寛君） 佐々木副町長。

○副町長（佐々木敏治君） それでは、議案第70号から76号まで、一括して説明をさせていただきます。

まず、議案第70号平成28年度陸別町一般会計歳入歳出決算認定についてであります。まず、説明資料ナンバー11をお開きいただきたいと思います。

説明資料ナンバー11は、28年度の歳出決算資料でありまして、各課配当別になっております。つまり、総務課のほうから各課に予算を配当して、予算が初めて執行されるということになりますので、配当主義になっております。したがって、これから説明する決算書の各科目ごとの決算額とは一致しませんので、まず御了承をいただきたいと思います。

一般会計と特別会計、右側、左側に分かれておりますが、まずは左側の一般会計ですが、総務課は、予算額が24億3,342万2,438円に対して、決算額が24億1,041万3,717円、執行率は99.1%になっております。

町民課ですが、3億1,726万円の予算に対して、3億1,127万661円、執行率は98.1%になります。繰越明許費19万8,000円ほど、これは後から説明申し上げますけれども、マイナンバーにおける費用となります。町民課は、御存じのとおり国保会計と後期高齢者医療特別会計も担当しておりますので、今度は、特別会計をごらんいただきたいと思います。まず上段が国保の特別会計の決算状況であります。4億9,488万5,000円の予算に対して、決算額が4億7,854万1,172円、執行率は96.7%となります。その下、後期高齢者医療特別会計は、予算額4,032万円に対して、決算額3,984万694円で、98.8%の執行率となります。保健福祉センター、一般会計のほうです。予算額が3億6,952万6,200円に対して、決算額3億5,783万1,297円、96.8%の執行率。特別会計、介護保険会計も持っておりますので、予算額が3億542万7,000円、決算額が2億9,538万2,706円、96.7%の執行率であります。

産業振興課、予算額が10億9,153万9,920円、決算額が7億5,944万5,813円で、繰越明許費3億1,343万9,000円が29年度への繰り越しとなります。ちなみに、繰越明許費を含めた執行率は69.6%になりますが、この繰越明許費を除くと執行率は97.6%になります。

建設課であります。予算額7億9,370万9,260円に対して、決算額7億2,360万283円。繰越明許費5,786万8,600円がございます。繰越明許費を含めた執行率は91.2%であります。繰越明許費を除くと98.3%の執行率となります。建設課は、簡易水道特別会計と下水道特別会計も担当しておりますので、まず上段の簡易水道特別会計ですが、予算額1億9,435万3,000円に対して、1億8,795万8,565円の決算、96.7%の執行率です。下水道会計ですが、予算額1億4,265万8,000円に対して、決算額1億4,052万6,554円、98.5%の執行率であります。

教育委員会ですが、予算額1億6,564万4,182円、決算額が1億5,798万7,136円、執行率は95.4%。繰越明許費3万円を含んでおります。

国保診療所ですが、特別会計であります。予算額3億8,808万4,000円に対して、決算額3億7,358万7,862円、96.3%の執行率になります。

議会ですが、予算額3,668万8,000円に対して、決算額3,591万8,935円、97.9%の執行率であります。

監査ですが、214万8,000円に対して211万2,088円、98.3%の執行率。

選挙管理委員会、436万8,000円の予算に対して365万6,515円、83.7%の執行率です。

農業委員会、586万8,000円の予算に対して534万69円、91%の執行率。

消防署、1,663万7,000円の予算に対して1,492万1,722円、89.7%の執行率であります。

一般会計合計ですが、予算額52億3,681万1,000円の予算に対して、決算額47億8,249万8,236円。繰越明許費の合計が3億7,153万5,600円です。繰越明許費を含めた執行率は91.3%。繰越明許費を除くと98.3%の執行率になります。

特別会計ですが、予算額15億6,572万7,000円に対して、決算額15億1,583万7,553円、96.8%の執行率であります。

一般会計と特別会計を合わせた合計予算額68億253万8,000円に対して、決算額62億9,833万5,789円、繰越明許費が3億7,153万5,600円です。繰越明許費を含めた執行率は92.3%、繰越明許費を除くと97.9%の執行率となります。◎で2行書いてございますが、これは後ほど目を通していただきたいと思いません。

次、資料の次のページをお開きください。

ナンバー12は、一般会計決算に対する財源内訳表となっております。決算額、繰越明許費、不用額、左側については、ナンバー11の資料と同じであります。右側、歳出総額、財源内訳、一般財源、特定財源とございますが、これは、千円単位になっておりますので、御了承いただきたいと思いません。

まず、総務課については、歳出総額 24 億 1,041 万 4,000 円に対して、財源内訳としては、一般財源 21 億 3,980 万 3,000 円。特定財源 2 億 7,061 万 1,000 円であります。総務課は、地方交付税、そういった国からの交付金関係を主に担当しておりますので、その分が一般財源としてふえている、特定財源より多いという内容であります。

町民課、歳出総額 3 億 1,127 万 1,000 円、一般財源が 1 億 8,392 万 6,000 円、特定財源が 1 億 2,734 万 5,000 円。町民課は、御存じのとおり町税関係が主な一般財源になっております。

保健福祉センター、3 億 5,783 万 1,000 円の歳出総額ですが、一般財源が 1 億 5,805 万 6,000 円、特定財源が 1 億 9,977 万 5,000 円。

産業振興課ですが、歳出総額 7 億 5,944 万 6,000 円に対して、一般財源が 1 億 9,003 万 9,000 円、特定財源が 5 億 6,940 万 7,000 円。

建設課ですが、7 億 2,360 万円の歳出総額に対して、一般財源 2 億 9,919 万 7,000 円、特定財源が 4 億 2,440 万 3,000 円であります。

教育委員会ですが、歳出総額 1 億 5,798 万 7,000 円ですが、一般財源が 1 億 706 万 6,000 円、特定財源が 5,092 万 1,000 円であります。

議会、3,591 万 9,000 円に対して、全額一般財源。

監査、211 万 2,000 円、全額一般財源。

選挙管理委員会、365 万 7,000 円ですが、一般財源は 28 万 1,000 円、特定財源が 337 万 6,000 円です。これは後ほど説明しますが、28 年度においては参議院議員選挙がございましたので、国からの委託金になります。

農業委員会、534 万円に対して、一般財源 462 万 4,000 円、特定財源が 71 万 6,000 円。

消防関係が 1,492 万 1,000 円に対して、一般財源 1,490 万 8,000 円、特定財源が 1 万 3,000 円。

合計ですが、歳出総額 47 億 8,249 万 8,000 円、一般財源総額が 31 億 3,593 万 1,000 円、特定財源が 16 億 4,656 万 7,000 円となっております。

その下に、一般財源総額 32 億 6,122 万円とございます。これは、◎が 2 行ございますが、その 2 段目、歳入決算額 49 億 778 万 7,193 円から特定財源 16 億 4,656 万 7,000 円を引いたもの、この差額が一般財源総額であります。

したがって、今、財源内訳で言いました一般財源 31 億 3,593 万 1,000 円をこの額から控除した額、つまり、差し引き 1 億 2,528 万 9,000 円が歳入歳出の差引額となります。これは決算書で後ほど出てきますので、そのとき説明いたします。

それでは、次、ナンバー 13 をお聞きください。

資料ナンバー 13 は、地方創生交付金事業の実績資料でありまして、これは 27 年度から 28 年度への繰越明許事業であります。

まず、移住促進交付金で、企画費ですが、事業費390万5,000円に対して、実績が390万5,000円と。この交付金充当というのは、歳入で後ほど説明しますけれども、それぞれ移住交流対策事業、その下の企画費、地方創生加速化交付金事業、これら繰越明許費として、交付金充当額というのは、国からの交付金になります。これも後ほど説明をしていきます。

なお、上の移住促進からその下4行目のとち、イノベーションの12万円まで1,076万1,000円、それからその下、観光費ですが、特産品マーケティング事業の147万8,523円から一番下のとち連携事業負担金6万円まで、これが2,076万円になります。これは、資料ナンバー14にも出てきますので、あらかじめ御了知をいただきたいと思います。その下、地方創生推進交付金、これは28年度現年度分であります。30万円の交付金事業であります。

次のページをお開きください。ナンバー14、これは先ほど説明しましたがけれども、全体的な28年度繰越明許事業一覧ということで、27年度からの繰越明許費であります。まず、一番上の社会保障税番号制度管理事業、これはマイナンバー制度の関係ですが、繰越額が3,829万8,000円、これは決算書の40ページに出てきます。その横の実績額3,826万5,750円は、これは決算書の42ページに出てきます。その下、民間活用住宅建設事業2,180万円、実績も2,180万円。それからその下、企画費の地方創生加速化交付金事業、委託料600万円、実績額が599万4,488円、19節488万円。国庫支出金が1,076万1,000円となります。それからその下、農業競争力強化基盤整備事業、これは農地費ですが、19節の2,250万円、これは80ページに出てきます。それから、実績額が2,249万9,640円、これは決算書の80ページに出てきます。前段で言いました企画費の地方創生加速化交付金事業は、繰越額が決算書の46ページ、実績額が48ページに出てきます。温泉スタンド改修事業766万8,000円の繰り越しで、実績が752万7,600円、これは決算書の88ページに出てきます。観光費の地方創生加速化交付金事業212万円から376万円まで、2,138万円ですが、これは決算書の88ページ。実績額が212万円、1,541万523円、366万4,364円。この今の三つの合計が2,076万円となります。これは資料ナンバー13と同額となります。

次のページ、ナンバー15であります。

これは29年度への繰越明許費事業でありまして、先ほど言いましたけれども、総務費のほうで、19節19万8,000円、これは決算書の41ページ、43ページに出ております。企画費の民間活用住宅建設事業2,300万円、その下の太陽光発電設置事業50万円、これは47ページと49ページに出てきます。その下、交流センター改修事業720万3,600円、これは決算書の51ページ。その下、畜産・酪農収益力強化整備事業2億4,778万9,000円は、決算書81ページ。その下の農業競争力強化基盤整備事業4,265万円は、決算書81ページと83ページ。教員住宅建設事業3万円は10

3ページ。その下、4,410万2,000円は105ページ。その下、公共土木施設災害復旧事業、11節34万7,000円、15節571万6,000円は、決算書の119ページ、121ページに出てきます。合計3億7,153万5,600円は、決算書の123ページに出てきます。財源内訳の合計の欄ですが、国庫・道支出金の合計2億7,696万2,000円、起債2,420万円、その他財源、基金の取り崩しも含みますけれども、4,242万2,000円、この三つを合わせたもの3億4,358万4,000円は、収入未済額となります。一般財源の2,795万1,600円は、決算書124ページの収入済額、翌年度へ繰り越しすべき財源となります。

それでは、決算書の136ページをお開きください。136ページは説明資料であります。

まず、137ページの第1表、平成28年度歳入歳出決算の総括であります。予算額52億3,681万1,000円に対して、決算額、歳入が49億778万7,193円、歳出が47億8,249万8,236円、差し引き1億2,528万8,957円、これは翌年度への繰越財源となります。それと財政調整基金、後ほど説明しますが、5,000万円を積んでおります。それらを引いた額4,733万7,357円が平成29年度へ繰り越しとなります。先ほど資料で説明しましたが、予算額52億3,681万1,000円には、27年度からの繰越明許費1億2,252万6,000円と、29年度への繰越明許費3億7,153万5,600円を含んでおります。したがって、29年度への繰越明許費3億7,153万5,600円を差し引いた執行率は、先ほど説明しましたが、98.3%となります。

次のページ、歳入の実績比較表であります。

町税では、28年度3億2,525万6,344円、不納欠損47万1,621円あります。これは12件であります。収入未済額200万4,956円、これは前年度よりも9件ふえて271件であります。この内訳としては、現年度分で140件、123万5,384円、滞納繰越分で31件、76万9,572円となります。詳細は後ほど説明をさせていただきます。

2款の地方譲与税以下、町債までであります。昨年も説明しましたが、陸別町の条例などで定める料金関係、町税を含めてですけれども、分担金、手数料ですとか、財産収入とかございます。それらを含めた自主財源と言われるものですが、これは13億7,625万9,067円であります。依存財源というのは、御存じのとおり、国から交付されるお金、それから町債なども含みます。国、道から交付されるお金と町債を含んでおります。その依存財源というのが35億3,152万8,126円。自主財源は、先ほど言いました13億7,625万9,067円ですから、歳入全体では28%の割合であります。前年度から見ると4.4%の増となりますが、一方、依存財源、今言いました35億3,152万8,126円、これは72%になります。つまり、御存じのとおり陸別町は、28年度決算においてもそうですが、7割以上、国、道、起債、そういうお金で収入が賄われ

ていると、そういうことがわかります。

参考までに、27年度決算から見ると、依存財源は4.4%減となります。先ほど言いました自主財源のほうで4.4%伸びた分、その分が依存財源で下がると。依存財源72%を100とした場合に、交付税は69.2%になります。つまり、依存財源72%のうち交付税の割合が69%あると、そういう財政の仕組みになっております。

第3表が歳出実績最近年度比較表、これについては、後ほどごらんいただきたいと思っております。

140ページ、第4表、町税徴収実績であります。左側が現年度分、右側が滞納繰越分であります。町民税は、調定額1億2,989万3,649円に対して、収入済額が1億2,895万2,565円、収入未済が94万1,084円、滞納繰越分として、調定額189万4,688円に対して、収入済額が101万4,490円、不納欠損が39万921円、収入未済額が48万9,277円であります。個人、法人と分けて記載しております。この中で、個人の収入未済額は、先ほど説明しましたが、94万1,084円は、24人の72件。滞納繰越分の不納欠損が9万121円、3人の4件。収入未済額が48万9,277円、15人の44件であります。法人分では、滞納繰越分で、不納欠損が30万800円、これは1法人、2件であります。

固定資産税であります。現年度分、調定額1億6,607万800円、収入済額が1億6,581万8,500円、不納欠損が1万4,700円、1人1件であります。収入未済額23万7,600円、これは15人の59件であります。滞納繰越分ですが、調定額120万3,150円、収入済額が88万455円、不納欠損が6万6,000円で、5人の5件。収入未済額が25万6,695円で、11人の82件であります。

軽自動車税、現年度分で639万9,300円の調定に対して、収入済額が634万2,600円、収入未済額5万6,700円ですが、これは9人の9件であります。滞納繰越分、調定額7万1,522円に対して、収入済額が4万7,922円、収入未済額が2万3,600円で、3人の5件であります。

たばこ税については、100%収納であります。

合計しますと、現年度分で3億2,456万3,561円の調定に対して、収入済額が3億2,331万3,477円、不納欠損が1万4,700円、これは1人1件です。収入未済額が123万5,384円、48人の140件であります。滞納繰越分ですが、316万9,360円の調定に対して、収入済額194万2,867円、不納欠損が45万6,921円、8人の1法人、11件であります。収入未済額76万9,572円、29人の131件であります。トータルしますと、現年度分と滞納繰越分を合わせますと、先ほどの説明の数値、調定額が3億2,773万2,921円で、収入済額が3億2,525万6,344円、不納欠損が47万1,621円、9人の1法人、12件。収入未済額が200万4,956円、77人の271件。全体的な収納率は99.2%となります。

次の141ページであります。第5表は、歳出の性質分析表でありまして、これは、2

8年度の財政状況から出しているものであります。人件費から繰出金まで目を通していただきたいと思いますが、この中で関心のある事項として、御存じのとおり自治体の義務的経費と言われるものがございます。人件費と扶助費と公債費であります。この義務的経費というのは14億5,486万1,000円でございます。この表からですね。人件費と扶助費と公債費を足しましたものが、義務的経費として14億5,486万1,000円でございます。それで、先ほど説明した自主財源というものが13億7,625万9,000円あります。これを差し引きしますと7,860万2,000円ほど歳入不足が生じると。つまり、それはどういうことかといいますと、地方交付税ですとか、そういう一般財源を充当してここに充てているということになります。

次の142ページになります。第6表は、最近5年間の決算額調ですから、これは後ほど見ていただきたいと思います。

143ページ、第7表は、引き上げ分の地方消費税交付金に係る社会保障財源化分が充てられる社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費でありまして、御存じのとおり、平成26年度決算より、消費税が5%から8%になった分、その差額分を地方消費税交付金として社会保障費に充てなければだめだということになりました。この中で、合計額ですが、一般財源の中で、地方消費税交付金（社会保障財源化分）1,941万9,000円とございます。これが、後ほど説明しますが、地方消費税交付金として、お金が入ってきているということになります。これは決算書の12ページ、13ページにございますので、後ほど御説明をしたいと思っております。

それでは、決算書の8ページをお開きいただきたいと思います。

8ページ、歳入であります。

まず、町税ですが、資料ナンバー16-1、2に、町税の調定、収入状況調書がございます。それから、資料ナンバー17に、十勝市町村税滞納整理機構からの引継収納一覧、それから資料ナンバー18に不納欠損の状況の一覧がございます。資料ナンバー16、17、18と、税関係の資料がございまして、後ほどごらんいただきたいと思っております。

今の税関係については、資料の歳入のほうで説明しましたので、ポイント的に説明をしていきたいと思っております。

まず、町税の収入済額3億2,525万6,344円の中には、税滞納整理機構からの収入、28件、29万1,618円が入っております。この町税3億2,525万6,344円は、ことしの3月31日現在の住民基本台帳の人口2,464人で割り返しますと、町民1人当たり13万2,003円となります。前年度より、27年度の決算から見ると6,996円ほど税が伸びているということになります。

町民税の個人であります。現年課税分、この中で収入未済額94万1,084円、24人、72件の対象者ですが、このうち8月末までに6人、12件、19万9,714円が入金になっております。同じく滞納繰越分、収入未済額48万9,277円、15人、44件ですが、このうち8月末までに7人、10件、7万7,593円が入金になってお

ります。先ほど言いました税滞納整理機構からの入金ですが、滞納繰越分の101万4,490円の中に、税滞納整理機構から15件、15万9,341円が入金となっております。

それから、固定資産税であります。固定資産税の現年課税分で、未収23万7,600円、15人の59件ですが、このうち8月末までに3人、12件、8万9,600円が入金となっております。滞納繰越分です。収入済額88万455円ですが、このうち税滞納整理機構から10件、11万755円が入金となっております。収入未済額の25万6,695円、11人の82件ですが、これも8月末までに2人、5件、4万7,195円が入金となっております。

それから、軽自動車税であります。現年課税分、未収額5万6,700円、9人の9件ですが、8月末までに1人、1件、6,000円が入金となっております。滞納繰越分の収入済額4万7,922円ですが、このうち税滞納整理機構から3件、2万1,522円が入金となっております。

10ページからは、地方譲与税以下、利子割交付金、配当割交付金、次のページの株式等譲渡所得割交付金は記載のとおりであります。

6款の地方消費税交付金、これは道からですが、先ほど言いました13ページ、地方消費税交付金、収入済額4,768万2,000円ですが、このうち地方消費税交付金が2,826万3,000円、社会保障財源交付金が、先ほど説明しました1,941万9,000円がこの中に入っております。

7款自動車取得税交付金以下、地方特例交付金も記載のとおりですし、地方交付税についても、次のページであります。15ページです。24億4,354万7,000円の収入となっております。普通交付税が21億7,556万2,000円、特別交付税が2億6,798万5,000円であります。前年度と比較しますと、普通交付税で8,788万4,000円の減、特別交付税は、逆に4,037万7,000円の増であります。地方交付税トータルとしては、前年度から見ると4,750万7,000円の減額となっております。資料ナンバー20に交付税の推移がありますので、後ほどごらんいただきたいと思っております。

地方交付税、これもことしの3月31日の住民基本台帳人口で割り返すと、99万1,699円が町民1人当たりの額になるということになります。

交通安全対策特別交付金につきましては、交付基準額に満たないため、25万円に満たないために未交付であります。

分担金及び負担金。分担金、農林水産業費分担金ですが、ここで、当初予算が940万3,000円、補正予算が2,743万9,000円、繰越明許費が1,935万円、合わせて5,619万2,000円の予算となっておりますが、まず、当初予算の940万3,000円と補正予算の2,743万9,000円を合わせた額3,684万2,000円の予算であります。このうち29年度への繰越明許費2,912万2,000円がこの中に入っ

でございます。差し引きしますと、28年度分の現年度予算額は772万円となります。繰越明許費1,935万円ですが、実収入は1,804万7,178円となります。

15ページの農業費分担金、道営事業の農業競争力基盤整備事業分担金です。予算額5,619万2,000円に対して、収入済額が2,576万7,007円、この差額が3,042万4,993円ございますが、このうち2,912万2,000円が29年度への繰越明許費として含まれております。この2,576万7,007円は、先ほど説明しましたけれども、27年度からの繰越明許費の額1,804万7,178円と、現年度分771万9,829円を合わせた額であります。

2項の負担金ですが、老人福祉費負担金252万9,240円、これは、町外養護老人ホーム入所者5名分の入所措置費の負担金であります。

それから、使用料及び手数料、総務使用料の1節行政財産使用料、これは土地建物の使用料の収入であります。

それから次のページ、4節のふるさと交流センター使用料、収入額が1,620万9,200円、ふるさと交流センター使用料については、資料ナンバー24-1、2に、交流センターの管理費と利用状況をつけておりますので、後ほどごらんいただきたいと思いません。

ちなみに、ふるさと交流センターの利用者数は4,422人ということで、前年度から見ると77人ほど減となっております。その下、5節の銀河の森宇宙地球科学館等使用料、これについても資料ナンバー25に、天文台の利用実績、資料ナンバー26に、コテージの利用実績を記載しております。銀河の森宇宙地球科学館等使用料が2,013万8,050円、前年度から見ると153万550円の増となっております。内訳を見ますと、天文台では、利用者8,045人ということで、前年度から見ると290人ほどの減となりますが、その収入が242万3,350円。コテージは逆に収入増となっております、909棟、1,771万4,700円、前年度決算から見ると94棟の増で171万5,800円の増であります。稼働率は35.6%であります。

2目の民生使用料、老人福祉施設の老人福祉使用料135万7,300円、これは福寿荘の入所者の使用料であります。その下、児童福祉使用料385万9,000円は、保育所の保育料であります。ちなみに、ことしの3月27日の卒園式現在では、2歳児が11名、3歳児が15名、4歳児が24名、5歳児が19名、合わせて69名となります。その下、福祉住宅使用料72万円は、からまつハウス入居者6世帯分の使用料となります。

衛生使用料の保健衛生使用料296万8,640円は、公衆浴場の使用料1万837人、290万4,140円。それと火葬場2件、6万円と墓地1件、4,500円でありまして、その下、水道使用料424万8,912円は、小利別の専用水道使用料でありまして、件数としては451件であります。

農林水産使用料12万1,100円は加工センターの使用料。その下、営農用水使用料503万8,618円は、上陸別地区とトラリ地区の水道料でありまして、上陸別地区に

については439件、284万2,188円。トラリ地区につきましては258件、219万6,430円であります。

それから、飛ばしまして、土木使用料、1節道路橋りょう使用料241万1,133円は、町道占用料21件分です。その下、河川使用料6万7,388円は、町管理河川の占用料で23件分であります。

19ページ、住宅使用料7,052万6,200円は、公営住宅、改良住宅、改良貸付住宅、特公賃住宅それぞれの使用料であります。

教育使用料、1節社会教育使用料2万5,564円は、これは公民館使用料9,050円、公民館陶芸室使用料1万6,514円。資料館使用料、これは関寛齋資料館です。13万6,500円で、有料分が455名であります。その下、学童保育所使用料124万円、児童数は、ことしの3月末現在では22名であります。

なお、御存じのとおり、28年度において、子育て支援ということで、学童保育料と保育所の保育料、これは28年度に見直しをかけておりますので、収入額が下がっているということになります。

それから、2項の手数料、総務手数料ですが、172万9,850円。これは御存じのとおり、戸籍証明ですとか住民基本台帳関係の証明手数料であります。

2目衛生手数料の589万1,988円は、大きなものとしては、ごみ袋の販売収入の577万4,838円が主な内容であります。その他としては、狂犬病の予防注射ですとか畜犬登録の手数料とかが内容であります。その下の水道手数料1万6,000円は、新設工事手数料が2件であります。

13款国庫支出金ですが、まず、国庫負担金の社会福祉費負担金8,522万7,629円ですが、これは、国保税の保険基盤安定交付金ですとか、低所得者の負担金ですとか、障害者訓練等給付費負担金、社会福祉費負担金については、それぞれ2分の1分が入ってきております。

その次、21ページ、児童福祉負担金3,515万9,471円は、大きいものとしては、児童手当分で1,772万4,998円、子どものための教育・保育給付費負担金1,736万1,000円、障害者介護給付費負担金、2分の1分で7万3,473円が内容です。それから衛生費負担金の5万7,960円は、母子保健衛生費負担金であります。

2項の国庫補助金、総務費補助金で3,984万5,000円、これは先ほどの地方創生絡みの補助金でありまして、まず、地方創生推進交付金、先ほど現年度分30万円と説明しましたけれども、この30万円がこの中に入っております。それから、社会保障番号制度管理事業520万円ですが、予算上では520万円でしたけれども、実際には802万4,000円の収入となります。地方創生加速化交付金事業、これは先ほど説明しました企画費のところですが、1,076万1,000円の収入。観光費のほうで2,076万円の収入となります。

民生費補助金、社会福祉費補助金2,293万5,000円ですが、これは年金生活者の

臨時給付金関係、それから、臨時福祉給付金補助金が主な内容であります。その下、児童福祉費補助金341万3,000円は、子ども・子育て支援交付金、これは道補助金と同額となります。

土木費補助金、道路橋りょう費補助金4,265万4,000円は、建設機械、雪寒機械の購入補助金が1,142万5,000円、橋りょう長寿命化修繕事業交付金が3,122万9,000円です。それから住宅費補助金2,832万8,000円は、社会資本整備補助金として、公営住宅新町団地N棟1棟2戸ほかの補助金。

教育費補助金、教育総務費補助金1,622万円は、教員住宅B棟1棟分2戸、1,479万8,000円、へき地児童生活援助補助金130万円、学校支援地域本部事業12万2,000円が主な内容です。小学校費補助金は、特殊教育就学奨励補助金関係、それから理科教育設備補助金が内容です。中学校費補助金5万4,000円も小学校費補助金と同様の内容です。

5目の災害復旧費補助金、公共土木施設災害復旧費補助金は415万6,000円、これは29年度への明許になります。これは災害に係る陸別薫別線の補助金、29年度への繰越明許となります。

委託金、総務費関係は、外国人の長期在留者の事務費委託金関係が主な内容。

選挙費委託金は、昨年7月10日執行の参議院議員選挙の委託金になります。

民生費委託金、児童福祉費委託金1,908円は、児童扶養手当、特別児童扶養手当事務委託金、それから国民年金費委託金が125万4,814円。

道支出金の道負担金、民生費負担金ですが、社会福祉費負担金6,940万9,494円、これは、まず国保の保険者支援分と保険料軽減分、保険者支援分が4分の1分、194万670円、保険料軽減分が4分の3分、958万6,612円がこの中に入っております。それから、後期高齢者医療特別会計の保険基盤安定負担金1,028万9,000円ほどございますが、これは、後期高齢者医療特別会計への繰出金の財源となります。これは4分の3分です。それ以外に障害者の相談支援ですとか、低所得者の保険料軽減分ですとか、身体障害者自立支援ですとか、これはそれぞれ道の負担割合4分の1分でございます。

児童福祉負担金1,281万5,567円は、児童手当分が409万3,998円。障害者介護給付費負担金が4万1,069円。子どものための教育・保育給付費負担金865万500円であります。

道補助金、総務管理費補助金550万円は、地域づくり補助金で、空き家対策で490万円。災害対策用品購入で60万円であります。

25ページ、社会福祉費補助金543万4,669円、これは老人クラブへの補助金ですとか重度心身障害者の医療費補助金ですとか、ひとり親家庭等の医療費補助金、乳幼児の医療費補助金などが内容であります。

その下、児童福祉費補助金341万3,000円は、子ども・子育て支援交付金であり

ます。

衛生費補助金、保健衛生費補助金であります。これは、健康増進事業関係、妊産婦の安心出産支援事業 9 万 1, 4 6 4 円もこの中に含んでおります。

農林水産業費補助金、農業費補助金 6, 1 1 2 万 8, 0 5 7 円、これについては、農業競争力強化基盤整備補助金の明許分 1 5 7 万 5, 0 0 0 円、現年度分 2 6 4 万 5, 0 0 0 円、それ以外に経営所得安定対策支払事業交付金ですとか、中山間地域等直接支払制度に係る 4, 5 7 8 万 1, 0 1 1 円を含んでございます。この中には農業委員会活動補助金 3 2 7 万 8, 5 8 0 円も含んでおります。

その下、林業費補助金 5, 7 9 5 万 6, 3 1 4 円は、経営林道陸別薫別支線の改良工事 1, 0 4 0 万 9, 0 0 0 円、同じく林業専用道勲祢別線開設工事 9 9 7 万 2, 7 8 4 円。それから、林業専用道の上勲祢別本苦務線 1, 5 0 9 万 1, 9 2 0 円などがこの内容であります。

その下の消費者対策費補助金 9 5 万 4, 0 0 0 円は、地方消費者行政活性化事業の補助金となります。

委託金につきましては、道からの権限移譲に係る委託金でありまして、総務費委託金からそれぞれ、次のページの 6 目の教育費委託金までございます。

1 5 款の財産収入、まず、財産貸付収入の土地建物貸付収入、これは普通財産の土地建物貸し付けになります。3, 0 9 4 万 5, 8 7 7 円の収入でありますけれども、一番大きいのがルナコートの貸し付け 1, 4 4 0 万円、それから、移住産業研修センターの貸付収入が 2 2 8 万 4, 6 0 0 円、それから土地の貸付収入などが主な内容です。2 節の通信設備貸付収入 9 8 3 万 9 7 0 円、これは光ファイバー網の貸付収入でありまして、年度当初は 4 6 8 件を見ておりましたけれども、結果として、月平均 5 0 5. 7 件にふえております。月平均で 3 7. 7 件の増となります。3 節の機械器具等貸付収入 6 7 9 万 3, 0 0 0 円、これはコントラクターへの農業機械の貸付収入でありまして、平成 2 1 年度貸し付け分が 2 5 万円、2 3 年度貸し付け分が 1 4 9 万 8, 0 0 0 円、2 4 年度貸し付け分が 4 1 0 万円、2 5 年度分が 9 4 万 5, 0 0 0 円です。利子及び配当金 6 4 3 万 1, 5 8 6 円は、各基金の利子が 6 0 7 万 5 4 3 円。優先出資の配当金 3 6 万 1, 0 4 3 円がこの中に入っております。

財産売払収入です。まず、不動産売払収入、2 9 ページ、土地売払収入 3 万 6 6 6 円は、町有地を国に売り払いしたものでありまして、高速道路の小利別インターの横の町有地を国に 7 1 9 平米売り払いをしております。これは、除雪転回場用地として売り払いをしております。その収入が 3 万 6 6 6 円であります。

物品売払収入の生産物売払収入 1, 0 5 1 万円は、町有林の立木販売が 9 9 1 万 5, 0 0 0 円、素材売り払いが 5 9 万 5, 0 0 0 円、それから不用物品売払収入 1 万 9, 2 4 0 円は、町有地の伐採木 1 万 6, 0 0 0 円、平成 3 年に購入したシバウラガーデントラクターの売り払い 3, 2 4 0 円であります。

寄附金であります。指定寄付金、総務費寄附金180万2,000円、寄附14件、教育費寄附金16万円、寄附2件。民生費寄附金1万円、寄附1件。災害復旧費寄附金22万5,000円、寄附11件であります。

繰入金ですが、資料ナンバー19に年度別増減一覧をつけておりますので、後ほどごらんいただきたいと思います。

基金の繰入金につきましては、予算時にそれぞれ説明をしておりますので、ここでは内容については省かせていただいて、財政調整基金で1億2,000万円の取り崩し、いきいき産業支援基金で2億4,055万9,000円の取り崩し、ふるさと銀河線跡地活用等振興基金繰入金で1,130万円、町有林で60万円、地域福祉基金で3,460万円、公共施設は7,630万円、22施設の維持管理、改修に係る取り崩しです。学校給食センター管理で1,960万円、ふるさと整備基金繰入金で10万5,000円、国際交流事業へ充当しております。

繰越金ですが、繰越明許費4,057万1,000円、これは明許費、27年度繰り越し分の翌年度へ繰越財源となります。一般財源です。

次のページ、前年度繰越金は9,262万9,653円。

諸収入ですが、まず、延滞金6万1,098円は、町税の延滞金でして、町民税が7件、5万7,598円、固定資産税2件、3,500円です。

町預金利子、これは、預金利子3万4,523円です。

貸付金元利収入、1節の家畜導入貸付金収入5,438万2,000円は、約定償還分が牛350頭、3,414万4,000円、繰上償還分、牛75頭、2,023万8,000円、合わせて牛425頭、5,438万2,000円となります。

貸付金元利収入8,000万8,552円ですが、大きいのは、信用保証貸付金、8,000万円が主な内容です。奨学資金貸付金収入は58万8,000円、9件でして、高校生が3名、大学等が6名であります。

受託事業収入、次のページになります。農業費受託事業収入43万3,728円、これは、トマム地区の農地整備監督事務ですとか、農村、農業の道営事業に係る監督補助の委託金であります。土木費受託事業収入20万9,054円は、道道の除雪に係る受託収入となります。

弁償金の36万6,893円は、大きいものとしては、交通事故に係る賠償金が34万8,883円、コピー代が1万8,010円です。

雑入です。介護予防支援報酬87万8,800円、これは介護予防サービス計画審査分です。まず国保連から186人分、83万8,400円、町の居宅介護支援事業所分が8人、4万400円。居宅介護支援報酬188万7,780円は、社協の居宅介護事業所廃止に伴いまして、居宅介護サービス計画費、国保連から156名分。高齢者福祉施設負担金220万6,200円は、福寿荘入居者の実費負担金。

学校給食費等1,203万470円は、小学生が450万3,600円、中学生が281

万3,000円、保育所が225万4,560円、職員などが245万9,310円です。

電話使用料は2万8,229円ですが、ふるさと交流センターですとか保健センターですとか、公衆浴場、役場庁舎といった電話使用料です。

電気等使用料11万6,552円は、銀河の森コテージ村と職員厚生室の分です。

雑入が6,149万8,375円です。主なものとしては、介護給付費負担金の精算返還金が233万円ほど、支障物件の移設補償が185万5,000円ほど、派遣職員の共済組合負担金が315万円ほどとなっております。

過年度収入です。37ページですが、障害者福祉費等負担金過年度収入1万8,677円は、障害者福祉等負担金過年度収入であります。

町債が4億5,212万4,000円ですが、このうち過疎債が3億780万円、それから、辺地債が770万円、一般単独防災対策事業債が700万円、一般補助事業債が520万円、単独災害債が233万円、臨時財政対策債が1億112万4,000円であります。

なお、町債の起債残高推移については、資料ナンバー10をつけておりますので、後ほどごらんいただきたいと思っております。

総務債の中には、過疎ソフト分で7,040万円も含まれております。過疎ソフト充当一覧については、資料ナンバー21をつけておりますので、後ほどごらんいただきたいと思っております。

次のページの災害復旧債、1節の農林水産業施設災害復旧債600万円、それから、公共土木施設災害復旧債1,730万円、この中に、予算額1,830万円に対して調定額1,730万円、収入済額1,730万円、この差100万円ほどございます。この100万円分は、陸別薫別線の事業に係る起債で、29年度への繰越明許費となります。

歳入合計ですが、38ページですけれども、繰越明許費で1億2,252万6,000円の予算ですが、実収入額は1億2,216万1,877円であります。予算額52億3,681万1,000円に対して、調定額49億1,026万3,770円、収入済額が49億778万7,193円、不納欠損が47万1,621円、収入未済額が200万4,956円で、歳入の決算を終えております。

次、歳出、40ページに移ります。

○議長（宮川 寛君） 11時30分まで休憩いたします。

休憩 午前11時11分

再開 午前11時28分

○議長（宮川 寛君） 休憩前に引き続き、会議を開きます。

説明を続けます。

佐々木副町長。

○副町長（佐々木敏治君） それでは、一般会計、40ページ、歳出から説明させていただきます。

まず、資料ナンバー 22-1、2 に人件費の比較表がございますので、後ほどごらんいただきたいと思ひますし、予算現額の中で繰越明許費、これらについては、資料ナンバー 13、14 にございますので、ごらんいただきたいと思ひます。

1 款議会費につきましては、議会の運営活動費でございます。議員 8 名、職員 2 名に係る予算となっております。旅費で 44 万 9 29 円ほど不用額が生じておりますけれども、これは議員の費用弁償が 33 万 6,439 円、普通旅費が 10 万 4,490 円であります。

先ほど繰越明許費の関係を説明させていただきましたけれども、41 ページに翌年度繰越額というのがございます。その真ん中の繰越明許費というものは、資料ナンバー 15 にございますので、それを見ていただきたいと思ひますが、それと、この繰越明許費の額は、節の中の予算の中にも入ってきます。ただ、これは 29 年度への繰越明許費ですから、支出済額のほうには入ってきませんので、あらかじめ御了知いただきたいと思ひております。

2 款総務費 1 目一般管理費ですが、決算額 2 億 7,616 万 9,939 円、繰越明許費が 19 万 8,000 円でございます。総務費全体では、明許費が 3,090 万 1,600 円でございます。これは、資料ナンバー 15 を見ていただければ中身がわかるかと思ひます。一般管理費につきましては、総務課の総務担当の職員福利厚生費ですとか、研修関係、職員人件費などが主なものです。企画財政担当では、電算システム管理事業、庁用の消耗品などが主な内容です。町民課の戸籍住民担当のマイナンバーに係る予算、社会保障・税番号制度における予算関係がこの一般管理費の中に入っております。

次の 42 ページの上段の表につきましては、一般管理費の主要事業ということで記載しておりますが、この中で、特にポイント的には、社会保障税番号制度管理事業、ここのシステム改修から下の個人番号カード等発行委任費用まで 4,381 万 4,870 円が、この予算の決算額となります。

43 ページの不用額の大きいものでいきますと、一般管理費、旅費で 100 万 7,242 円、これは普通旅費で 76 万 6,063 円、特別旅費で 24 万 1,179 円の不用額となっております。それから、13 節委託料で 33 万 2,024 円、これは、公会計導入支援業務に係る入札の執行残 22 万 4,348 円が主なものです。14 節使用料及び賃借料、不用額 28 万 3,777 円は、複写機の使用料の不用額 21 万 1,377 円が主な内容です。負担金補助及び交付金、先ほど言いました繰越明許費 19 万 8,000 円、これはマイナンバー制度の関係です。

文書広報費、これは町民課の広報広聴担当が担当します町広報紙の発行ですとか、町のホームページの管理、防災行政無線の管理が主な内容ですし、総務課の総務担当の通信運搬費、庁用の郵便料、これは役務費に入っておりますが、それが主な内容になります。主要事業の中で、一番下の防災行政無線機器更新工事、役場、消防庁舎ということで 3,132 万円でございます。これは 15 節ですが、工事請負費、役場には親局の放送卓、消防庁舎には遠隔制御卓を更新しております。これは年次計画で事業を進めているところで

す。不用額の大きいもので、需用費で13万3,847円、修繕料12万1,320円が主なものです。

次のページに行きまして、財政管理費、需要費61万416円は予算書の印刷。会計管理費の需用費62万9,424円は決算書の印刷であります。

財産管理費、決算額5億2,330万1,994円の内訳でありますけれども、総務課関係でいきますと、総務、企画財政、管財防災の担当の合計額が5億427万9,949円です。これは、各基金の管理ですとか、役場庁舎の維持管理、あるいは福祉館の維持管理、総務課、管財防災担当のバスを含む車両の管理ですとか、車両庫、りくべつ鉄道、コミュニティバスの運行などの費用でございます。

町民課につきましては1,824万4,155円。内訳としては、税務担当の地籍図修正などが165万2,400円。広報広聴統計の光ケーブル、地上デジタルテレビ中継局の維持管理費などが1,659万1,755円。

教育委員会のタウンホールの維持管理77万7,890円が各課の所管する事務に係る決算額であります。

44ページの表の中に、主要事業の2段目に、コミュニティバス運行委託業務205万2,000円がございます。これは、御存じのとおり、昨年11月からコミュニティバスということで、町民の皆さんに無料で乗っていただいて、外出機会の拡大ですとか、そういった部分で利用をお願いしているところでありますが、昨年11月1日からことしの3月31日までの利用人員は、延べで735人の利用がございました。

それからその下、公有財産購入、土地建物購入、旭町、土地3筆3,649.38平米、17万1,000円でございます。これは、財務省から土地を購入しております。

財産管理費の不用額の主なものにつきましては、需用費で71万7,071円、これは、内容としては、庁舎管理分で21万4,112円、地デジテレビ中継局関係で33万8,520円、光ケーブル管理で10万円の不用額、これらが主な内容です。役務費で22万8,647円、主なものとしては、総務担当の郵便料関係21万5,550円が主な内容です。委託料で98万4,023円、内訳としては、福祉館管理分で10万6,669円、光ケーブルの管理で66万4,888円、りくべつ鉄道の入札執行残9万4,200円が主な内容です。

25節の積立金4億4,717万9,209円ですが、資料ナンバー19に、基金の一覧をつけておりますので、後ほどごらんいただきたいと思います。

なお、ことしの3月末人口で割り返しますと、一般会計部分ですけれども、221万6,721円、町民1人当たり221万6,721円の貯金があるという、一般会計での試算ですけれども、そのようになります。

次の46ページ、町有林野管理費でございます。決算額1,575万2,984円ですが、46ページの主要事業の表の中で、町有林管理事業につきましては、資料ナンバー23に町有林の事業収支一覧をつけておりますので、後ほどごらんいただきたいと思います。

す。

なお、御存じのとおり、28年度はヤツバキクイムシの被害が発生しております。町内全体で530.96ヘクタールですが、そのうち町有林で131.78ヘクタールの被害があります。そういったことで、町有林事業については大幅に見直しをかけて、事業が縮小されているということを御理解いただきたいと思います。

企画費1億1,272万191円、繰越明許費で2,350万円。主要事業でいけば、ここに記載のとおりでありますけれども、まず、北海道陸別町東京事務所、御存じのとおり、昨年11月1日にエイデル研究所に東京事務所を開設しました。その旅費、小さいですけれども、17万7,660円。それから、その下の地域交通利用促進事業です。地域交通推進会議交付金293万805円ですが、27年度からバス利用者につきまして、1人当たり3分の2の運賃助成をしました。そうすると、28年度では件数として1,691件、利用者数については、延べですが2,090人の利用になります。23年度から見ますと、件数では270件、延べ人員では305人の増となっております。その下の生活交通確保対策事業、十勝バス、北見バス、787万5,000円ですが、十勝バスに478万6,000円、北見バスに308万9,000円であります。これらについては、特別交付税で8割が補填されると。その下の通学定期差額補助事業594万8,680円、これは実績として、北見方面が6人、236万2,460円。足寄高校14名、227万8,980円、本別高校9名、130万7,240円、合わせて高校生29名、594万8,680円であります。

移住交流対策事業は表に記載のとおりであります。47ページ、需用費で43万3,598円ほど不用額が生じておりますが、まず、移住体験住宅関係で12万5,636円、移住産業研修センターで18万7,627円の残が主な内容であります。

次のページになります。48ページ、表の3段目の地方創生加速化交付金事業、その下の地方創生推進交付金事業、これらについては、先ほど歳入のほうで説明しましたけれども、資料ナンバー13をつけておりますので、後ほどごらんいただきたいと思います。

この中で上の3段目のところで、内容の2行目です。農林業体験人材開発事業、繰越明許費ですが、新農林業人発掘プログラム開発事業委託料ですが、599万4,000円。昨年は、9月11日から9月16日まで、都市圏の大学生8人が来町しまして、酪農、林業の体験のほか、陸別町の歴史についても学んで帰られているところであります。

49ページで、19節で繰越明許費2,350万円。それから、不用額44万917円、大きなものとしては、通学定期差額補助分が13万320円、バス利用促進補助金が12万5,195円、サマーインで9万6,062円の不用額が主な内容です。

公平委員会費、交通安全対策費、諸費については、例年どおりの執行状況になります。

50ページ、交流センター管理費です。決算額は3,658万6,957円。50ページに主要事業一覧がございます。資料ナンバー24-1、2に管理費の内訳、利用状況をつけておりますので、後ほどごらんいただきたいと思います。

ちなみに、歳入でも申し上げましたけれども、交流センターの宿泊利用者数が4,422人、前年度から見ると77人ほどの減となっております。

51ページで、大きな不用額としては、需用費で24万3,874円、これは光熱水費が12万2,163円、燃料費6万6,069円が主なもの。委託料27万6,361円は、宿泊研修施設の管理分で25万7,450円が主な内容であります。工事請負費で720万3,600円の繰越明許費。

12目の銀河の森管理費7,275万463円の決算ですが、内訳としては、天文台関係で、人件費を含めて4,556万2,772円、コテージ村で1,916万6,543円、銀河の森で225万1,890円、専用水道で576万9,258円の内訳となっております。主要事業については、50ページの表に記載のとおりであります。資料ナンバー25に天文台の実績、資料ナンバー26にコテージの利用状況をつけておりますので、後ほどごらんいただきたいと思います。次の53ページで、9節旅費で、不用額35万6,450円、これは、費用弁償、館長の方ですが、35万6,450円の不用額。需用費24万8,380円は、光熱水費12万1,800円、内訳としては、天文台で6万225円、コテージで6万1,575円。専用水道で、修繕料10万円が主な内容であります。役務費で28万6,983円の不用額、コテージ村の宿泊予約システム19万2,829円が主な内容。委託料の73万9,779円の不用額は、コテージ村が15万4,112円。専用水道で42万2,680円が主な内容であります。

13目地域活性化推進費、決算額2,801万3,909円ですが、52ページに主要事業を記載しております。

なお、資料ナンバー27にチャレンジ・プロジェクト事業一覧がございますので、後ほどごらんいただきたいと思います。

地域おこし協力隊は、28年度においては4名ございました。地域ブランド開発推進事業から産業振興推進事業まで、4名でございます。地域おこし協力隊につきましては、1人当たり400万円まで特別交付税措置がございます。53ページの賃金44万1,336円の不用額ですが、商工支援推進員で21万6,263円、産業振興推進員で10万4,540円、地域ブランド開発推進員で7万7,199円の賃金の不用額が主な内容です。

2項の徴税费、税務総務費3,531万8,030円。給料から23節までは、例年どおりの執行状況ですが、不用額として、手当で37万9,021円、これは、時間外勤務手当30万2,025円が主なもの。23節償還金利息及び割引料282万5,424円。内訳としては、町税の還付金ですけれども、町民税が14件、41万6,224円、法人税が5件、236万4,800円、固定資産税4件、2万400円、合わせて23件、280万1,424円が町税の還付金です。それとあわせて、還付加算金、法人町民税が3件、2万4,000円の内訳となっております。不用額37万4,576円の内訳ですけれども、町税還付金で34万8,576円、還付加算金で2万6,000円の不用額となっております。

賦課徴収費 383万8,123円の決算ですが、ここに、十勝圏複合事務組合、十勝滞納整理機構負担金 23万191円の負担金ですが、歳入でも説明しましたがけれども、町税 44件、51万7,400円を引き継ぎました。収入としては、28件、29万1,618円の収納であります。そのうち町民税が21件、28万6,778円を引き継ぎをしまして、15件、15万9,341円の収納。固定資産税19件、20万1,900円を引き継ぎまして、10件、11万755円の収納。軽自動車税4件、2万8,722円を引き継ぎまして、3件、2万1,522円の収納となっております。各節の執行については、従来どおりの執行となっております。

戸籍住民基本台帳費ですが、決算額 1,447万4,363円。戸籍電算化事業ということで、戸籍総合システム使用料、保守料が 375万8,400円、これは19節の中に入れてございます。給料から19節までは例年どおりの執行状況。

選挙費、選挙管理委員会費については、報酬から19節まで例年どおりの執行。それから、参議院議員選挙費 337万6,252円、これは、先ほど歳入で説明しましたがけれども、昨年7月10日に執行した参議院の通常選挙の執行経費であります。歳出 337万6,252円、国からの委託金、歳入も同額の 337万6,252円で執行しております。

5項の統計調査費、これについては例年どおりの執行状況。

それから、監査委員費、これも例年どおりの執行状況であります。

3款民生費、決算額 6億1,988万8,858円。社会福祉費、社会福祉総務費の民生費事業実施状況一覧、これについては資料ナンバー 28-1をつけておりますので、後ほどごらんいただきたいと思います。主要事業の中で、医療費助成、町民課の国保衛生が担当しております。

ちなみに、社会福祉総務費の 3億8,254万2,947円の、課それぞれの執行状況につきまして説明します。まず、総務課の企画財政室では、国保会計と介護保険会計への繰出金、国保会計の繰出金が 2,648万9,600円、介護保険会計への繰出金が 4,483万2,000円、合わせて 7,132万1,600円。総務課総務担当の職員人件費、社会保険料等で 6,210万424円。それから、町民課の国保衛生担当では、子ども、重度心身障害者、ひとり親家庭等の医療費助成、これが 1,783万7,619円。保健福祉センターの福祉担当が 2億2,990万1,931円。介護保険担当が 138万1,373円の、各課各担当の業務と決算額になっております。

60ページ、主要事業の主な点を申し上げます。

まず、医療費助成ですけれども、子どもの分、対象者は 309名、前年から見るとマイナス 12名です。町の単独拡大分、そのうち 214名であります。前年度から見ると 5名の減。受診件数は 1,070件、前年度から見ると 221件の増。助成額が 455万7,728円で、97万6,899円ほど増となっております。小計としては、対象者 309名で、マイナス 12名。受診件数が 1,881件、前年度より 523件増。助成額が 749万5,677円で、79万9,580円の増となっております。

重度障害につきましては、町単独分では対象者は3名、前年度から見ると3名増。件数も43件増。助成額25万9,238円であります。小計では、対象者129名で、前年度より8名の減。受診件数では3,176件で、前年度から見るとマイナス12件。助成額が855万8,792円で、前年度から見ると100万6,321円の減であります。

ひとり親家庭等は、対象者が49名で、前年度から見るとマイナス2名。町の拡大分については2名、前年度から見るとマイナス2名。受診件数が22件、前年度から見るとマイナス6件。助成額が3万9,185円で、前年度から見ると5万5,393円の減。小計では、49名でマイナス2名。件数267件ですが、44件のマイナス。助成額52万2,337円で、10万1,177円の減となります。

合計として、対象者は487名ですが、前年度から見ると22名の減。受診件数が5,324件、前年度から見ると467件の増。助成額が1,657万6,806円で、前年度から見ると30万9,918円の減となります。

61ページ、職員手当等の不用額27万3,830円は、勤勉手当で14万3,675円、扶養手当で7万8,000円が主な内容であります。

62ページになります。主要事業については、ここに記載のとおりですが、防犯灯につきましては341灯、前年度から見るとマイナス7灯であります。

それから、交通費助成、助成券交付ですが、高齢者569名、前年度から見ると22名の増。障がい者127名、前年度から見ると12名の増であります。

臨時福祉給付金、549名。年金生活者等支援臨時福祉給付金、障害・遺族年金受給者向けが96名と、高齢者向け給付金470名、合わせて566名。1,698万円となります。

福寿荘の火災見舞金、昨年11月25日に火災がありましたが、町民災害見舞金として6世帯、1世帯5万円の30万円。これは19節負担金、補助及び交付金の中に入っております。

動産補填見舞金6世帯、1世帯50万円、300万円。これは扶助費の中に入っております。

扶助費の不用額751万5,117円の内訳でございますが、まず医療費助成、子ども、ひとり親、重度障害者等の医療費助成の不用額が158万7,194円。交通費助成が23万400円。身障者更生医療が150万2,033円。身障者補装具交付が18万9,104円。療養介護医療費が13万3,848円。地域生活支援費が10万7,271円。障害者介護給付費が181万5,136円。障害者訓練等給付費が187万8,741円、合わせて744万3,367円が主な内容であります。

28節の繰出金7,132万1,600円、先ほど説明しました国保会計に2,648万9,600円。介護保険に4,483万2,000円。436万7,400円、この不用額は、国保会計繰出金の残でございます。

2目の老人福祉費1億2,742万6,649円ですが、主要事業の中で、デイサービス

センター運営費1,407万3,096円ですが、利用状況を申し上げます。要支援1が394人、要支援2が705人、要介護1が851人、要介護2が636人、要介護3が426人、要介護4はゼロです。要介護5が34人、合わせて3,046人の延べ利用者数であります。なお、前年度から見ると、合計で227人の増となっております。

なお、老人福祉費については、28-2に資料をつけておりますので、後ほどごらんいただきたいと思えます。

それからその下、一つ飛んで、居宅介護支援事業所運営費179万1,935円、これは、利用延べ人員は、要支援1、2が51人、要介護1、2が181人、要介護3、4、5が86人、合わせて318人であります。

○議長（宮川 寛君） 昼食のため、午後1時まで休憩いたします。

休憩 午後 0時01分

再開 午後 1時00分

○議長（宮川 寛君） 休憩前に引き続き、会議を開きます。

説明を続けます。

佐々木副町長。

○副町長（佐々木敏治君） それでは、64ページをお開きください。

64ページの主要事業の中から一、二点申し上げたいと思えます。下から6行目ぐらいですか、地域介護予防活動支援事業、ほっとカフェですけれども、6回開催しまして、96名の参加がございました。その上の公用車購入ですけれども、介護予防・日常生活支援総合事業用車両ということで1台、訪問型サービスAに係る事業の一環でありますけれども、車両1台を購入してNPOに貸し付けをしております。一番下のふれあいの郷の改修工事、これは火災に伴っての改修工事でありますけれども、506万5,200円の工事請負費ですけれども、財源としては、建物共済金が歳入で506万5,000円入ってきております。

65ページ、需用費で84万7,838円の不用額がございましたが、主なものとしては、福寿荘の分が48万9,308円、高齢者交流センター分で18万9,096円、ふれあいの郷で8万1,466円が主な内容となります。

後期高齢者医療費の繰出金1,644万996円は、後期高齢者医療特別会計への繰出金となります。

児童福祉費の児童福祉総務費、主要事業の中で、乳幼児紙おむつ用埋め立てごみ袋の支給ですが、39世帯、17万5,800円ですが、これは需用費になります。世帯数でいけば、前年度から見ると7世帯増となっております。それから発達支援ということで、発達支援推進事業として、子どもカフェを9回開催しまして、保護者を含めて760名の参加がございました。出産祝い金、28年度からの新たな事業としてですが、制度化しまして、実績としては10名の120万円。特に、第5子で1人、第4子で1人がふえております。120万円ということで、これは8節報償費のほうに、決算額123万3,860

円のうち、出産祝い金が10人、120万円を含んでおります。需用費25万7,345円ですけれども、紙おむつのごみ袋17万5,800円、発達支援推進事業の7万6,832円もこの中に含んでございます。

次の67ページ、扶助費で36万843円の不用額がございしますが、これは身障児の補装具分が28万5,000円、障害者育成医療分が7万1,000円が主なものです。

2目の児童福祉施設費、これは保育所の運営費ですけれども、資料ナンバー29に児童福祉関係の実施状況をつけておりますので、後ほどごらんいただきたいと思います。歳入で説明しましたけれども、3月27日の卒園式現在では、2歳児が11人、3歳児が15人、4歳児が24人、5歳児が19人の合わせて69名ということになります。

給料から19節までは、例年どおりの執行となります。19節、227万3,560円には、給食の負担金225万4,560円を含んでおります。

次の68ページ、児童措置費、児童手当関係ですけれども、資料ナンバー30をつけておりますので、後ほどごらんいただきたいと思います。

3項の国民年金費についても、資料ナンバー31をつけておりますので、後ほどごらんいただきたいと思います。国民年金費、給料から役務費までは従来どおりの執行です。

衛生費、保健衛生総務費、69ページ、手当で29万6,949円の執行残、これは時間外手当が14万6,629円、勤勉手当が14万63円が主な内容です。

71ページ、23節償還金利息及び割引料4万9,680円、これは未熟児の療育医療費の返還でありまして、28年度で、対象者1人として予算を計上しておりましたけれども、結果として、対象者がなかったということでの返還となります。

2目の保健衛生施設費2,439万5,866円の決算ですが、内訳としては、保健センター分で1,913万4,213円、公衆浴場分で526万1,653円の決算であります。70ページの主要事業のところ、公衆浴場・歩行浴施設関係が出ておりますが、合計として1万968人、前年度から見ると555名の減であります。一方、歩行浴利用者については803名ということで、前年度から見ると122名の増となっております。

3目の予防費関係です。72ページになります。主要事業の中で、各種検診、健康診査、予防接種につきましては、資料ナンバー32をつけておりますので、後ほどごらんいただきたいと思います。この中で、予防接種の中で、表の下から4行目、日本脳炎265名ですが、まず、委託料で262名、償還払い、つまり、20節の扶助費で3名の265名。その横の高齢者肺炎球菌42名ですけれども、委託料で39名、扶助費で3名、それからインフルエンザ458名ですけれども、委託料で451名、扶助費で7名の内訳となっております。73ページで、13節委託料1,283万2,916円ですが、この内容としては、健康診査、予防接種、各種検診関係で1,276万6,036円。療育指導者派遣で6万6,880円の内訳となっております。不用額49万3,084円は、健診関係で8万3,910円、予防接種で40万9,050円が主な内容であります。

扶助費で28万9,306円の不用額ですが、妊婦健診交通費助成が15万2,650円、

日本脳炎予防接種で5万3,490円の残が主な内容になります。

環境衛生費につきましては、例年どおりの執行状況です。13節委託料で37万5,265円の不用額ですが、火葬業務で36万3,080円の不用額がこの中に含まれてございます。

診療所費、繰出金ですが、1億3,400万4,000円。直診会計への繰出金でありませぬ。

2項の清掃費、次のページになります。19節負担金補助及び交付金の中の不用額23万2,855円は、し尿の搬送助成金23万1,700円が主な内容になります。

塵芥処理費、主要事業でありますが、収集量合計で452.1トン、前年度から見ると31.2トンのごみの減量化になってございます。75ページ、需用費で40万2,761円の不用額、修繕料が31万2,372円、消耗品費で8万9,149円の執行残を含んでございます。あとは例年どおりの執行状況となります。

水道費、これは小利別の専用水道であります。主要事業はここに記載のとおりですが、御存じのとおり、小利別から下敷祢別の松浦さん宅前までが小利別の専用水道でありまして、29年3月末の戸数では23戸と、前年度と同じ戸数になっています。需用費で21万1,761円、これは修繕料が10万円、光熱水費で5万6,379円、消耗品費で4万5,382円の不用額。委託料で32万2,557円の内訳は、管路等の修繕が23万8,000円、施設保全作業で6万6,968円の執行残であります。

2目の水道費については、簡易水道事業特別会計への繰出金8,369万8,000円であります。

5款の労働費、労働諸費につきましては、例年どおりの執行状況であります。19節負担金補助及び交付金で25万167円の不用額がありますが、ふるさと東十勝通年雇用促進協議会の負担金の残18万7,267円、振動病予防対策で3万7,800円の執行残が主な内容であります。

緊急雇用対策費でございますが、11節から16節までは、例年どおりの執行状況ですが、主要事業の中でありませぬ委託料1,337万7,760円については、町内6社、延べ769人が利用してございます。

3目の雇用再生対策費、地元雇用促進事業でありますが、ここに書いてあるとおり、事業者の雇用促進支援で、新規雇用18名、1,276万1,667円です。前年度10名ですから、8人の増となります。この内訳ですけれども、まず、平成27年度からの継続者は、農業関係で3名、そのうち1名は既に退職しております。商業関係で2名、これも1名退職があります。福祉関係で1名、建設業で1名、7名の継続ですが、そのうち2名が退職しております。新規としては、町内者が8名、十勝管内が7名、道内が3名の18名です。農業関係で11名、1名退職です。建設業で1名、福祉関係で2名、商業関係で4名、1名退職であります。合わせると25名となりますが、退職も4名ございます。

次が農林水産業費であります。農業費については4億3,197万5,367円の執行で

あります。繰越明許費が2億9,043万9,000円ございます。

1目の農業委員会費については、ここに記載のとおりでありまして、例年どおりの執行であります。

農業総務費については、職員の人件費のみの計上であります。手当で23万786円、時間外勤務手当で7万8,492円、勤勉手当で14万8,916円の不用額が主な内容です。

農業振興費、80ページになります。主要事業の中で、特に、○印の下から4行目、新農業人育成事業、営農実習奨励金165万円、1名でございます。経営自立補助金20万9,910円につきましては、固定資産税の対象者が2名、農地の賃貸借が1名となっております。一番下、農協への優先出資金1億円、新規でございます。これは24節になります。19節の負担金補助及び交付金で283万5,334円の不用額がございます。内容としては、農業関係制度資金利子補給事業が73万7,634円、農林推進協議会補助金が82万5,148円、農業近代化資金利子補給事業が120万4,098円の内訳となっております。

畜産業費です。主要事業の中では、下から3行目の優良家畜導入支援事業、家畜導入貸付金7,625万円ですが、これは搾乳牛90頭の貸し付けになります。資料ナンバー33に事業一覧を載せておりますので、後ほどごらんいただきたいと思います。

畜産業費では2億4,778万9,000円の繰越明許費がございます。これは19節であります。19節の予算額が2億6,596万9,000円ですが、支出済額が1,640万6,359円。予算と支出額の差し引きが2億4,956万2,641円。そのうち2億4,778万9,000円が繰越明許費となります。内容としては、クラスター協議会への補助金ですが、JA、農協分が下斗満、殖産、関地区の哺育センター、育成センター、管理センター関係が2億756万円、北斗牧場の乾乳牛分娩舎、1棟4,022万9,000円が内容であります。その不用額ですが、177万3,641円。これはクラスター協議会への補助金が46万2,385円。クラスター協議会への補助金で、JA哺育導入舎、130万5,500円の不用額が出ております。

農地費の繰越明許費で、80ページですが、2,250万円。これは一番下の農業競争力強化基盤整備事業、陸別地区草地畜産基盤整備事業、道営事業ですが、現年度分と繰り越し分ですが、この繰り越し分のところが2,250万円ですが、実際の支出額は2,249万9,640円、それから現年度分が1,171万9,147円、合わせて3,421万8,787円となります。予算の5,437万円から現年度分の1,171万9,147円を差し引いた4,265万853円ですが、このうち4,265万円が29年度への繰越明許費となります。次、83ページになります。ただいま言いました19節で、予算額8,088万2,000円、支出済額が3,800万657円、この差額4,288万1,343円の中に繰越明許費が含んでございます。

営農用水管理費、主要事業はここに記載のとおりですが、上陸別地区とトラリ地区の営

農用水であります。上陸別につきましては、年度末で30戸、2戸の増。トラリ地区は、年度末で19戸、前年度と同じ戸数であります。決算額1,774万8,003円。この内訳としては、上陸別1,449万1,523円と1,830円を足した額。トラリ地区が325万4,650円であります。需用費で27万392円の不用額は、光熱水費で15万1,192円、消耗品費で11万1,360円。委託料で44万7,886円の不用額は、管路等修繕が21万3,840円、水質検査で17万6,028円、水道メーター取りかえで5万7,178円の不用額となっております。主要事業の中で、2行目の水道管支障移転、上陸別地区営農用水第1号幹線配水管路支障移転工事923万4,000円は、15節の工事請負費でございます。

公共草地管理費につきましては、例年どおりの執行状況です。主要事業にある登良利地区公共草地配電線路の災害復旧工事254万8,800円は工事請負費でございます。

84ページ、8目の農畜産物加工研修センター管理費、利用実績につきまして、資料34をつけておりますので、後ほどごらんいただきたいと思います。給料以下、備品購入費までは、例年どおりの執行状況であります。

2項の林業費1目の林業振興費。86ページに主要事業を記載しております。森林保護事業、民有林造林促進事業、未来につなぐ森づくり推進事業補助金、これは資料ナンバー35をつけております。その下、森林整備担い手対策推進事業、林業長期就労促進担い手対策事業、退職金共済制度加入促進事業、この三つについては、資料ナンバー36をつけておりますので、後ほどごらんいただきたいと思います。町有林管理費でも申し上げましたけれども、キクイムシ被害がございますので、事業の見直しなり変更をして実施しております。工事請負費については、治山工事1,387万8,000円、これは岡山地区の小規模治山工事でございます。27、28年度で完了であります。他の節については例年どおりの執行状況。

2目の狩猟費ですが、556万5,739円で、例年どおりの執行状況です。18節105万9,000円は、デジタルトランシーバー20台購入、備品購入費でございます。8節報償費で64万9,531円の不用額、これは奨励金の不用額であります。

林道新設改良費、主要事業についてはここに記載のとおりであります。2段目の林道維持管理から、二つ飛んで林道開設工事まで4行ですが、工事請負費で4,677万480円であります。

次、88ページ、商工費になります。商工総務費については、給料、手当、共済費、職員人件費でございます。

商工振興費で、主要事業はここにあります。商工業振興事業のうち2段目の商工振興事業補助金、商工会への補助金で、プレミアム商品券800万1,230円ですが、これは昨年7月と11月に、プレミアム20%の2,000セットを2回、4,000セットを実施しております。使用枚数が9万7,778枚、798万1,499円。事務費が1万9,731円で、合計800万1,230円あります。商工振興の日産自動車購入費助

成は14台、291万6,770円であります。19節の不用額377万893円の内訳ですけれども、中小企業融資制度保証料補給金が94万9,520円、中小企業経営安定資金が87万2,877円、商工振興事業で186万5,266円が主な内容です。商工振興事業の内訳としては、商工会運営分で139万6,358円、ぷらっと共有部分で36万9,338円、プレミアム商品券分で9万8,770円が主な内容です。

観光費です。88ページ、繰越明許費で2,904万8,000円。これについては、実支出額は2,872万2,487円であります。88ページの一番下、温泉スタンド改修、繰越明許費、15節752万7,600円。次の90ページになります。2行目の地方創生加速化交付金関係は、資料13、14を後ほどごらんいただきたいと思います。

4目の公園費、これについては例年どおりの執行状況。

消費者対策費、主要事業の中にありますが、消費生活相談窓口開設、月2回の24回開催しております、相談が1件ありました。それから町広報紙を活用してPRも実施しております。それから、消費生活支援事業、くらし塾、月1回開催しまして、12回開催しております。延べ47人の参加でございます。報償費以下、例年どおりの執行状況になっております。

92ページ、土木費ですが、建設課担当の工事一覧、資料ナンバー37-1、2をつけておりますので、後ほどごらんいただきたいと思います。土木総務費については、職員人件費が主な内容であります。職員手当等で83万5,801円の不用額、時間外勤務手当で73万6,077円、勤勉手当で9万8,480円の不用額が出ております。主要事業になります。樋門管理32万4,000円は委託料でございます。

道路橋りょう費、1目の道路橋りょう総務費、主要事業はここに記載のとおりですが、この科目で大きいのは、公用車、除雪グレーダー1台3,231万3,600円、備品購入費になります。グレーダーの予算としては、備品購入費と役務費の294万4,503円のうち69万1,810円、合わせて3,300万5,410円がグレーダー購入に要した経費でございます。需用費の不用額135万2,862円は、消耗品費で52万1,650円、修繕料で82万9,749円が主な内容であります。

道路維持費、94ページになります。主要事業の除排雪業務から、下から三つ目の砂箱設置までは委託料になります。ここに記載の事業について、合計が8,503万3,962円、通常の道路維持補修分が403万6,865円、合わせて8,907万827円となります。排水整備工事、法面補修工事は15節になります。合わせて3,632万400円。不用額、委託料366万173円の不用額の内訳ですけれども、管渠清掃が20万1,975円、区画線設置22万5,000円、路面補修99万4,000円、縁石取りかえが38万8,000円、町道維持補修176万6,160円の不用額が主な内容であります。17節公有財産購入費9万5,404円、これは東1条仲通りの土地購入20.74平方メートルの購入に係る経費。22節の補償補填及び賠償金49万6,560円も同様に、立木補償分であります。

橋りょう維持費、主要事業に記載とおりであります。まず、測量試験費、上段2件については委託料783万円であります。真ん中の橋りょう補修工事、橋りょう長寿命化新恩根内橋補修工事から、一つ飛んで橋りょう長寿命化弥生橋補修工事その2まで、これは工事請負費で2,615万7,600円。その下、北海道市町村支援連絡協議会に対する負担金、陸別町橋りょう提携委託業務負担金、11橋で1,127万6,280円、これは19節になります。

道路新設改良費であります。主要事業としてはここに記載のとおりであります。一番上の測量試験費は、町道新町7号通りの道路設計委託料、道路改良工事では、町道殖産4号線舗装工事362万8,800円、同じく町道殖産4号線の道路改良工事377.07メートル、4,676万4,000円であります。殖産4号線については、ユニバースの前の町道でありまして、27年度から実施設計をして工事を進めてきております。28年度までで1億3,312万800円を執行しておりまして、今年度も舗装工事として2,192万4,000円ほど、30年度においても舗装工事として900万円ほどを見込んでおりますので、トータルとしては1億6,500万円ぐらいの工事の見込みで、今、試算としての見込みであります。

次の96ページ、街路灯費、29年3月末で182基の管理であります。そのうち83基のLED化を実施しております。需用費で153万2,326円の不用額は、光熱水費で95万4,666円、修繕料で57万7,660円の不用額であります。

河川費、主要事業に記載のとおり、委託料でありまして、普通河川の鹿山川ほか護岸補修委託料で199万8,000円、鹿山川ほか河川補修で101万6,020円、合わせて301万4,020円が13節になります。

住宅費、住宅管理費、97ページ、11節で882万2,144円の執行ですけれども、修繕料834万2,972円をこの中に含んでございます。不用額68万6,856円ですが、この中には修繕料として62万1,028円の執行残が主な内容になります。

98ページになります。上の表は、町営住宅の管理の状況であります。公営住宅改修、給湯器更新工事で734万4,000円、これは工事請負費になります。

住宅建設費、主要事業に記載のとおりです。公営住宅N棟1棟2戸、公営住宅建設と外構工事で4,307万400円、公営住宅改修W、X、Y棟の屋根防水、外壁塗装、電話設備用配管移設他工事までが15節で5,265万8,640円。その下の新町団地公営住宅N棟の外構工事に伴う補償費80万39円、これはNTT電柱2本の移設補償でございます。

下水道費につきましては、公共下水道事業特別会計への繰出金8,571万8,000円。

消防費につきましては1億5,797万3,722円。消防団に係る経費が1,419万1,722円。とかち広域消防事務組合の負担金が1億4,378万2,000円あります。1目の消防費については、消防団に係る経費でございます。まず、報酬のほうでは1

93万7,732円、3月末で団員53名分であります。報償費103万3,000円は、団員4名の退団に伴う退職報償金。旅費で101万8,060円の不用額は、団員の費用弁償が100万120円、普通旅費が1万7,960円となっています。需用費45万7,489円の不用額の内訳としては、消耗品費が30万3,609円、食糧費が6万3,350円、光熱水費が2万7,322円、修繕料5万3,460円が主な内容であります。旅費ですが、511万6,940円の内訳、団員に係る分が438万6,940円、広域消防に係る分が73万円ほどございます。19節1億4,546万2,410円ですが、消防団分として241万410円、とかち広域消防事務組合の負担金が1億4,305万2,000円となっております。

災害対策費であります。主要事業の中に、防災対策として、防災用備蓄品の購入129万2,808円、これは通常の分の予算執行になります。災害見舞金、町民災害見舞金23世帯、23万円。これは昨年の台風7号、11号、9号に係る避難対象世帯に対する見舞金でありまして、23世帯、1世帯1万円の23万円、これは扶助費になります。職員手当で330万2,537円、職員の時間外勤務手当が主でして、経常分で13万9,223円、台風による対策本部関係で1,301時間、313万314円、消防11名分、町職員44名分であります。需用費107万6,839円、防災対策で90万3,528円、台風の対策本部で17万3,311円です。14節使用料及び賃借料、8万7,196円の不用額が出ておりますが、実は台風7号、11号、9号の関係で避難勧告を出しまして、避難所に寝具借上料として8万7,000円を予算計上しておりましたけれども、確定額が5万3,900円ですが、実は未執行、未払いで決算を終えてしまったということが判明しました。職員には注意しましたが、今後このようなことがないようにしたいと思っておりますが、この未払額5万3,900円については、今年度において予算を流用して支払いを完了しているところであります。

10款教育費の教育委員会費については、報酬から19節までは例年どおりの執行。事務局費については、主要事業はここに記載のとおりですが、大きいものとしては、教員住宅の建設、B棟の1棟2戸と外構工事、電気設備、機械設備、解体工事が主な内容であります。決算額1億2,811万9,892円の中身としては、教員住宅建設事業で4,699万3,697円、職員人件費で7,823万4,220円、合わせて1億2,522万7,917円が主な内容であります。職員手当で75万2,077円の不用額、時間外勤務手当が59万6,948円、勤勉手当が15万2,190円の不用額であります。役務費で3万円の繰越明許費、これは教員住宅建設に係る手数料関係です。次のページ、工事請負費、繰越明許費で4,410万2,000円、これも教員住宅建設1棟2戸分の29年度への繰越明許費となります。

教育振興費は、主要事業についてはここに記載のとおりであります。特にこの中では、学習支援員と英語指導助手の賃金、共済費、旅費ですとか役務費関係がございました。ポイント的に申し上げますと、まず、共済費234万7,215円の内訳としては、学習支援

員で128万9,353円、英語指導助手で105万7,862円。不用額22万9,785円は、学習支援員に係る不用額。賃金818万8,630円の内訳として、学習支援員で454万7,370円、英語指導助手で364万1,260円。不用額が7万3,370円ありますが、このうち7万1,630円は学習支援員の分。報償費で12万5,426円の不用額がございますが、これは土曜授業分で4万4,000円、経常分で8万1,426円の不用額でございます。旅費60万8,747円のうち60万1,027円は英語指導助手分であります。同じく需用費18万2,775円のうち10万6,048円が英語指導助手分。不用額で12万7,375円ございますが、そのうち11万9,102円が英語指導助手分。役務費7万4,752円の執行ですけれども、そのうち6万7,502円が英語指導助手分。不用額1万3,248円は土曜授業分でございます。使用料及び賃借料で82万6,850円、これは英語指導助手分。19節216万1,987円のうち9万7,180円は英語指導助手分となります。

4目のスクールバス運行管理費、これについては例年どおりの執行であります。主要事業の中で、利用状況がございますが、合計で、上陸別線で1,940人、小利別線で6,026人、殖産トラリ線で2,953人、西斗満線で6,270人、合わせて1万7,189人となります。前年度は1万6,224人ですから、前年度から見ると、延べですが、965人の利用増となります。22節の補償補填及び賠償金34万8,883円は、昨年9月16日のスクールバス事故に係る賠償金でございます。

教育研究所費は、報酬から負担金までは例年どおりの執行。

小学校費です。ことしの3月31日現在ですが、1年生が14人、2年生が23人、3年生が15人、4年生が14人、5年生が17人、6年生が14人、合わせて97人の児童数であります。報酬から14節までは例年どおりの執行状況であります。需用費で40万3,178円の不用額がありますが、これは燃料費で36万250円、光熱水費で2万2,624円、修繕料で1万9,524円であります。工事請負費については、主要事業の一番下、学童保育所駐車場の整備工事651万2,400円であります。

教育振興費につきましては、11節から扶助費まで例年どおりの執行状況。

中学校費ですが、3月31日現在、1年生が13人、2年生17人、3年生21人の合わせて51名の生徒数であります。主要事業はここに記載のとおりであります。11節から14節までは例年どおりの執行状況。需用費で88万3,914円の執行残ですが、燃料費で68万6,660円、光熱水費で15万569円、印刷製本費で2万9,880円の執行残であります。

次のページになります。教育振興費で、特に就学援助の関係ですが、扶助で、準要保護9名ありますが、昨年度から見ると4名の増と。学用品費からPTA会費まで、36名になりますが、前年度決算から見ると17名の増となります。それから扶助、特別支援教育も3名で、前年度から見ると1名の増。学用品費から修学旅行費まで合わせますと7名ですが、昨年度は3名ということで、4名の増となっております。需用費で30万2,2

00円の不用額ですが、消耗品費で21万6,666円、修繕料で6万8,000円の不用額が出ております。

社会教育費につきましては、主要事業はここに記載のとおりですが、学童保育所指導員、この中で、学童数は、3月31日現在では22名となっております。報酬から次のページの19節までは例年どおりの執行状況ですけれども、賃金で23万713円の不用額、社会教育指導員で7万2,750円、学童保育所で15万7,963円の不用額。報償費で19万8,204円の不用額ですが、ことぶき大学で12万8,200円、学校支援地域本部事業で6万9,700円の不用額。113ページ、19節で78万4,220円の不用額がございしますが、文化芸術鑑賞で35万7,681円、文化団体活動推進事業で9万1,986円、冒険・体感inとうきょうで28万903円が主な内容であります。

公民館費につきましては、主要事業はここに記載のとおりですが、報償費から19節までは例年どおりの執行であります。需用費で13万1,141円の残がありますが、光熱水費で8万3,588円、燃料費で2万6,320円が主な内容であります。

文化財保護費についても例年どおりの執行状況になります。

それから、保健体育総務費についても例年どおりの執行状況。負担金補助及び交付金で21万1,206円の不用額がありますが、スポーツ振興基金運用事業で12万2,341円、全国大会等参加事業で3万5,100円、十勝東北部体育大会で3万3,352円が主な内容です。

体育施設費につきましては例年どおりの執行状況になります。

学校給食費、職員人件費2人分、給料、手当、共済費。そのうち共済費397万9,200円ですが、そのうち職員給に係る分が257万5,865円。2節給料、3節手当と合わせますと、職員人件費で1,821万4,071円になります。

116ページの表の中で、簡単に申し上げますが、まず、収入のほうで、給食センター1,270万9,908円とございます。この中で、保育所225万4,560円、小学校が450万3,600円、中学校が281万3,000円、合わせて957万1,160円になりますが、これは歳入歳出同額となります。したがって、過疎ソフト事業で950万円ほど歳出のほうで充当しております。それで、管理費の3,821万1,053円から給食センターの収入1,270万9,908円、それと基金を取り崩しておりますので、1,960万円を足しますと3,230万9,908円ということで、差し引き590万1,145円が一般財源の充当ということになります。11節需用費112万819円の不用額ですが、燃料費で10万2,358円、光熱水費で23万1,741円、賄い材料費で72万1,423円の不用額が出ております。

118ページ、災害復旧費、これは昨年8月の台風7号、9号、11号の被害に係る復旧費であります。農業用施設災害復旧費については、ここの表に記載のとおりであります。林業用施設災害復旧費についてもこの表のとおりであります。公共土木施設災害復旧費、道路橋りょう災害復旧費についても、120ページの表のとおりでございます。12

1 ページで、需用費で34万7,000円、工事請負費で571万6,000円ですが、これは、繰越明許費として、陸別薫別線に係る明許費となります。

公債費については、元金4億9,707万3,253円。利子が4,411万4,730円。なお、資料ナンバー20に起債残高推移の資料をつけております。利子で206万9,270円の不用額がございます。償還分で162万9,516円、一時借入分で43万9,754円ですが、この償還分162万9,516円のうち159万7,215円について説明いたします。内容としては、平成17年に借入れをした臨時財政対策債の10年目の利率の見直しが28年度にございまして、当初は2%でしたが、利率の見直しが0.1%に変更になったことによって、先ほど言った159万7,215円の不用額が出たという内容であります。

予備費については未執行でございます。

歳出、支出総額が47億8,249万8,236円、明許費が3億7,153万5,600円、不用額が8,277万7,164円であります。予算流用は16件、259万6,997円であります。

124ページ、28年度の陸別町一般会計決算書、実質収支に関する調書であります。

歳入総額が49億778万7,000円。歳出総額が47億8,249万8,000円。歳入歳出差引額が1億2,528万9,000円。翌年度に繰り越しすべき財源、繰越明許費繰越額2,795万2,000円。実質収支額が9,733万7,000円。基金繰入金5,000万円、これは財政調整基金に積んでございます。差し引き残4,733万7,000円が翌年度への繰越金となります。

125ページ、財産に関する調書であります。公有財産の総括表でありますけれども、行政財産、普通財産、土地建物に係る移動の内訳でございますが、行政財産については、126ページ、135ページ、普通財産については127ページ、135ページ、山林、有価証券については128ページ、出資に係る権利については129ページ、備品、物品については130ページから133ページ、債権、基金については134ページにありますので、後ほどごらんいただきたいと思います。

以上で、議案第70号についての説明を終わりました、次、71号の説明に移ります。

○議長（宮川 寛君） 2時10分まで休憩いたします。

休憩 午後 1時55分

再開 午後 2時10分

○議長（宮川 寛君） 休憩前に引き続き、会議を開きます。

説明を続けます。

佐々木副町長。

○副町長（佐々木敏治君） それでは、議案第71号平成28年度陸別町国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳出決算認定について御説明を申し上げます。

172ページ、説明資料のほうをごらんください。

173ページになります。第1表、国民健康保険事業状況最近年度比較表であります
が、これは後ほどごらんいただきたいと思ひます。

第2表、歳入歳出決算の総括です。予算額4億9,488万5,000円に対して、歳入
決算額が4億9,445万9,567円、歳出決算額4億7,854万1,172円で、差し
引き1,591万8,395円が29年度への繰り越しとなります。歳出の執行率は96.
7%となります。

第3表、歳入実績最近年度比較表ですが、国保税が、収入済額が8,709万78円
で、27年度から見ると113万7,895円ほど増となっております。不納欠損3万5,
700円は、1人、1件。収入未済額が375万9,722円で、33人、190件であ
ります。あとは国庫支出金以下、諸収入まで比較として載せてございます。

次のページに移ります。第4表、歳出実績最近年度比較表でありますけれども、2款の
保険給付費において、28年度は2億5,387万867円ということで、27年度と比
較しますと1,789万9,230円ほど減額となっております。

第5表、176ページは、24年度からの国保税収入の比較表となっております。

第6表は、歳入歳出の5年間の決算額調でございます。

それでは、149ページをお開きください。

149ページ、歳入であります。国保事業の一覧、収支決算については、資料ナンバー
38-1から4までをつけておりますので、後ほどごらんいただきたいと思ひます。

国保税の収入済額8,709万78円で、95.8%の収納率でございます。一般被保険
者国保税については、年度末ですけれども、28年度455世帯、前年度から見ると17
世帯の減、被保数は747人で、前年度から見ると44人の減となっております。現年
課税分です。収入済額が8,410万3,169円。収入未済額が231万6,600円、
18人の107件、このうち8月末までに5人、7件、12万9,100円が入金となっ
ております。滞納繰越分、収入済額165万2,578円、不納欠損が3万5,700円、
1人、1件です。収入未済額が144万3,122円、15人の83件、8月末までに6
人、10件、17万422円が入金となっております。

なお、滞納繰越分の収入済額の中には、税滞納整理機構から26件、74万5,878
円が収入済みであります。国保税の一般と退職とを合わせたものでいくと8,709万7
8円で、この中に滞納整理機構の分が26件、74万5,878円が入っています。不納
欠損が1人、1件、3万5,700円。収入未済額が33人の190件の375万9,72
2円となっております。

2目の退職被保険者等国保税は、これは60歳から64歳までですけれども、年度末の
世帯数は7世帯、前年度から見ると6世帯の減。被保数が10人、前年度から見ると7人
の減となります。退職のほうは、現年課税分だけでございます。133万4,331円
で、調定額100%の納入となります。

国庫支出金、トータルでは1億1,611万6,263円で、国庫負担金は内訳に記載の

とおりであります。

次のページの国庫補助金、財政調整交付金4,850万9,000円ですが、内訳としては、普通調整交付金が14万6,000円、特別調整交付金が4,836万3,000円、このうち4,827万5,000円は、直診会計への繰出金の財源となっております。

その下、3目の国民健康保険制度関係業務準備事業補助金153万2,000円、これは国保システムの改修、制度改正に伴う補助金であります。

療養給付費交付金はここに記載のとおり172万7,000円の決算であります。

前期高齢者交付金については1億1,753万972円で、28年度の概算額が1億905万9,129円、26年度精算に係る不足分が846万6,425円、調整額5,418円を足した1億1,753万972円となります。

道負担金454万3,129円、各目の金額についてはここに記載のとおりでございます。

次のページ、特定健康診査等負担金50万円、これは国と同額となります。

道補助金の財政調整交付金1,675万4,000円は、普通調整交付金が1,023万9,000円、特別調整交付金が651万5,000円、直診会計への繰出金54万円を含んでございます。この54万円というのは、内視鏡に係る補助金となります。

共同事業交付金9,661万3,920円。

それから、財産収入1万3,407円、利子及び配当金で1万3,407円であります。

他会計繰入金で、一般会計からの繰入金です。2,648万9,600円で、保険基盤安定繰入金2,054万4,833円ですが、内訳としては、まず、保険料軽減分で、一般会計の歳入にありました北海道の4分の3分、958万6,612円、それと保険者支援分、これも一般会計の歳入にございましたが、国4分の2分、388万1,341円、北海道4分の1分、194万670円、それと保険料軽減分で、一般会計の負担分4分の1分、319万5,538円、保険者支援分で、一般会計負担分4分の1分、194万672円、合わせて、保険料軽減分で1,278万2,150円、保険者支援分で776万2,683円、合わせて2,054万4,833円となっております。

その他一般会計繰入金594万4,767円ですが、内訳としては、出産育児一時金分が28万円の3件、84万円、事務費分が261万9,448円、保健事業分で65万7,470円、特定健診分で178万7,849円、葬祭費分で4万円の内訳となっております。

繰越金については、ここに記載のとおり2,750万7,867円。

諸収入の延滞金加算金及び過料、一般被保険者の延滞金1万300円は7件分でありませう。退職被保険者等延滞金から次のページの退職被保険者等加算金までは科目存置。

2項の雑入で、1目の一般被保険者第三者納付金から4目の退職被保険者等返納金までは科目存置であります。

5目の雑入、1節の雑入で6万3,031円。内訳としては、健診の個人負担金が5万

3,500円、指定公費負担金9,531円、これは国保連からであります。

歳入合計、予算額4億9,488万5,000円の、調定額が4億9,825万4,989円、収入済額が4億9,445万9,567円、不納欠損額が3万5,700円、収入未済額が375万9,722円であります。

次、159ページ、歳出に移ります。

1款総務費であります。一般管理費、旅費から積立金までは例年どおりの執行であります。19節負担金補助及び交付金で153万2,000円は、電算システムの、国保の都道府県単位標準システム導入93万8,000円、国保事業費納付金算定システム連携に係る改修が59万4,000円、合わせて153万2,000円。これは補助金と同額になります。

積立金1万3,407円は利子分です。

徴税費、賦課徴収費で、税滞納整理機構へ39万9,809円の負担金ですが、45件、140万8,200円を引き継ぎしまして、26件、74万5,878円の収納であります。

運営協議会費については例年どおりの執行であります。

2款の保険給付費、1項の療養諸費、一般被保険者療養給付費2億1,514万5,149円です。件数としては1万2,310件、費用額が2億9,560万8,268円であります。

退職被保険者等療養給付費222万1,182円、161件の費用額319万836円であります。

3目の一般被保険者療養費678万6,022円ですが、前年度から見ると143万8,905円ほど増となっております。件数は700件、前年度より232件の増。費用額は924万9,319円。費用額自体も194万4,560円ほど前年度から上がっております。

退職被保険者等療養費10万4,816円は5件、費用額が14万9,740円であります。

高額療養費、一般被保険者高額療養費が2,768万4,752円、これは前年度から見ると743万5,046円の減となっております。482件、費用額が2,768万1,207円あります。

次のページ、2目の退職被保険者等高額療養費4万6,128円、1件の費用額が1万6,128円あります。

3目の一般被保険者高額介護合算療養費から移送費までは科目存置。

出産育児諸費、出産育児一時金126万円は、42万円の3件分であります。

葬祭費4万円は4件分。

後期高齢者支援金等については3,881万3,901円、前年度から見ると266万2,590円の減であります。積算としては、28年度概算額が4,494万5,431

円、26年度の精算額が、過払いがございましたので613万20円の減額。調整費についても減額、4,413円の減額、事務費につきましては2,903円の追加、差し引き合わせて3,881万3,901円であります。

前期高齢者納付金等2万7,218円ですが、これも28年度概算額が5万1,285円、26年度の精算額が、これも過払いがございました。2万6,868円の減額、調整分についても過払いですので、17円の減額、事務費が2,818円で、差し引き2万7,218円であります。

介護保険納付金1,512万5,055円であります。これは国保税のうち介護分として、2号被保険者、40歳から64歳までですけれども、支払基金に支払いをします。その28%分が介護保険のほうに返ってくると、そういう仕組みになっています。

共同事業拠出金1億292万7,002円あります。

3目の保険財政共同安定化事業拠出金8,683万4,364円、前年度から見ると704万1,862円の減額であります。

4目、5目については科目存置。

保健事業費でございます。特定健康診査等事業費、委託料261万7,825円、これは健診332名、253万4,723円が主な内容であります。特定健診受診率は67.5%を見込んでおります。目標は55%であります。

保健事業費です。170ページの委託料77万3,078円ですが、内訳としては、共同電算業務が2万6,304円、予防接種、インフルエンザが148人の44万4,000円、高齢者肺炎球菌が30人、12万円あります。それと健診、40歳未満、14人分10万7,174円。それと、ふれあいの広場会場ステージ設置で7万5,600円あります。19節の2万1,760円は、インフルエンザ7名分でございます。

諸支出金の償還金及び還付加算金979万1,823円は、27年度分の療養給付費の精算に伴う国への返還955万9,970円。同じく退職者分が、支払基金へ14万853円。国保税の還付金が11件、9万1,000円あります。

3項の繰出金、直診会計への繰出金で4,827万5,000円。へき地診療所運営分で4,665万5,000円。医療機器、内視鏡分で162万円あります。

予備費は未執行であります。

歳出合計が、支出済額が4億7,854万1,172円、96.7%の執行率。流用1件、22万1,182円あります。

171ページ、28年度国民健康保険事業勘定特別会計決算書、実質収支に関する調書であります。

歳入総額が4億9,445万9,000円、歳出総額が4億7,854万1,000円、歳入歳出差引額1,591万8,000円で、実質収支額が1,591万8,000円あります。

以上で、議案第71号の説明を終わります。次、議案第72号の説明に移ります。

議案第72号平成28年度陸別町国民健康保険直営診療施設勘定特別会計歳入歳出決算認定について。

197ページをお開きください。これは説明資料になっております。

次の198ページになります。第1表は、28年度の歳入歳出決算の総括であります。予算額3億8,808万4,000円。決算額ですが、歳入が3億9,104万5,179円、歳出が3億7,358万7,862円、差引額が1,745万7,317円、この額が29年度への繰越金となります。歳出は96.3%の執行率となります。

第2表は、歳入実績最近年度比較表であります。診療収入で、28年度1億4,682万3円で、27年度と比較しますと5,190万6,200円の減となっております。一方で、繰入金で1億8,227万9,000円で、27年度から見ると1,513万4,000円ほどの増となっております。合計が、収入済額が3億9,104万5,179円でございます。不納欠損、収入未済額はございません。

次のページ、第3表、歳出実績表であります。医業費において、28年度は9,696万6,189円、27年度から見ると1,978万8,243円の減となっております。公債費で1,900万2,908円ですが、前年度から見ると769万9,998円の減額となっております。支出済額が3億7,358万7,862円であります。

第4表が診療収入収納状況調であります。未収、不納欠損はございませんので、まず、入院合計でいくと1,860万2,297円、27年度から見ると105万8,778円の増。外来が1億933万8,050円で、5,489万4,450円の減となります。

次のページになります。第5表は、経費別支出内訳調であります。総務費2億5,761万8,765円で、前年度から見ると358万8,624円の減。2の医業費では9,696万6,189円で、前年度から見ると1,978万8,243円の減。特に(3)の医薬品費3,785万7,148円、前年度から見ると6,191万7,548円の減であります。要因としては、昨年10月から外来の院外処方実施に伴う医薬品の購入費の減があります。

203ページ、患者数及び職員数調ですが、入院について、27年度と28年度とを比較しますと、患者数が1,050人、27年度が1,237人ですから、187人の減。一方、外来では、28年度が1万3,841人の患者で、27年度が1万2,880人ですから、961人増となります。入院、外来を合わせますと、28年度は1万4,891人、27年度は1万4,117人ですから774人の患者増となります。

204ページは職員数調、患者1人1日当たり診療収入調、患者1人1日当たり薬品費調、診療収入に対する投薬等の収入割合でございます。特に、ここでいくと3の医薬品、外来で、前年度から見ると4,993円の減、4の患者1人当たりの薬品費1,660円で、前年度から見ると4,583円の減。診療収入に対する投薬の収入割合も、投薬収入が21.6%で26.9ポイントの減、この3点については、先ほど説明しました28年10月からの外来の院外処方実施に係る額となります。

それでは、歳入、182ページをお開きください。

資料ナンバー39-1、2に診療所の運営状況をつけておりますので、後ほどごらんいただきたいと思います。

診療収入が1億4,682万3円であります。

1項入院収入、2項の外来収入については、ここに記載のとおりでございます。

使用料及び手数料の診療所使用料、行政財産使用料3万6,505円は自動販売機の使用料でございます。次のページ、文書料99万8,480円は、診断書、介護意見書が主な内容であります。

道支出金の施設管理費補助金810万円はCTの分でございます。

4款の財産収入、財産貸付収入、土地建物貸付収入47万2,800円は、住宅3戸分の貸付収入。

繰入金、一般会計からの繰入金1億3,400万4,000円については、起債償還分が1,900万4,000円。医療機器整備分634万円、これは内視鏡になります。財政対策分で1億866万円の内訳となります。それから、国保事業勘定特別会計からの繰入金4,827万5,000円は、へき地診療所運営分で4,665万5,000円、医療機器分で162万円、これは内視鏡の分であります。

188ページ、前年度繰越金が2,092万7,005円。

諸収入、雑入で、私用電話料6,100円、雑入で458万4,742円、内訳としては、嘱託医報酬294万円、社会保険料個人負担分が79万6,222円。患者外給食62万8,600円。医療器具使用料が20万2,990円。病衣貸付料が1万4,680円でございます。

町債、診療施設整備債2,650万円は、過疎債でして、CTに係る分でございます。

調定額3億9,104万5,179円に対して、同額の3億9,104万5,179円であります。

以上で、歳入を終わりました、歳出、190ページになります。

歳出、1款総務費2億5,761万8,765円で、一般管理費2億5,680万2,162円の支出済額です。ここに照明LED化、131万7,600円は委託料になります。給料で、まず60万4,900円の不用額、これは看護師1名の休職に伴う残額。職員手当108万7,436円の不用額は、時間外勤務手当が33万135円、夜勤手当が20万9,831円、勤勉手当が40万8,957円、宿日直手当が4万円、特殊勤務手当3万6,866円、寒冷地手当2万9,300円などが主な内容です。共済費35万240円の不用額、共済組合費が16万2,094円、追加費用が5万1,051円、社会保険料が13万6,106円であります。賃金52万2,256円の不用額は、臨時看護師分が28万7,507円、臨時調理人分が22万3,031円となっております。委託料44万812円の不用額ですが、医療機器の保守管理27万424円、設備改修分で8万8,400円、施設設備保守管理が3万692円の内訳であります。研究研修費の旅費71万1,9

30円の残は、普通旅費に係る分でございます。

次のページ、2款の医業費、まず、医療用機械器具費は、ここに記載のとおり、病室用ベッド4台、CT装置、内視鏡システム、合わせて4,419万4,440円、これは備品購入費の中に入ってきます。それから、医療用消耗器材費、委託料で114万9,552円、これは在宅酸素の部分でありまして、48万6,448円の不用額も在宅酸素が主な内容です。

医薬品費、先ほど説明しました、昨年10月からの外来院外処方実施に伴う内容であります。需用費で3,785万7,148円。内容としては、8月までの医薬品と10月以降の時間外急患用などの薬が2,471万1,711円、ワクチン代が482万3,614円、注射用薬剤が832万1,823円の内訳でございます。

飛びまして、公債費、194ページ、元金ですが、1,878万2,721円、前年度から見ると742万450円の減。起債の残高一覧は、資料ナンバー20にありますので、後ほどごらんいただきたいと思います。利子分については22万187円、前年度から見ると27万9,548円の減となります。

支出済総額が3億7,358万7,862円で執行を終わっております。

196ページ、28年度陸別町国民健康保険直営診療施設勘定特別会計決算書、実質収支に関する調書。

歳入総額が3億9,104万5,000円、歳出総額が3億7,358万8,000円、歳入歳出差引額が1,745万7,000円、実質収支額が1,745万7,000円であります。

以上で、議案第72号を終わりました、議案第73号に移ります。

議案第73号平成28年度陸別町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について。

219ページをお開きください。219ページは説明資料でありまして、次の220ページになります。第1表、平成28年度歳入歳出決算の総括であります。予算額1億9,435万3,000円に対して、決算額、歳入1億9,238万3,083円、歳出が1億8,795万8,565円、差引額442万4,518円が29年度への繰越金となります。歳出は96.7%の執行率となります。

221ページ、第2表、歳入実績最近年度比較表であります。まず、1の使用料及び手数料で、収入済額が5,342万6,276円、27年度より24万7,433円の増となっております。収入未済額1件、1万4,834円あります。繰入金8,369万8,000円で、27年度から見ると1,345万8,000円の減となっております。合計が1億9,238万3,083円の収入済額であります。

第3表が、歳出実績最近年度比較表であります。

総務費が1,250万5,676円で、27年度から見ると57万3,545円の減、施設費が7,372万760円、前年度から見ると2,899万841円の減、公債費1億173万2,129円、前年度から見ると225万960円の減、合計で支出済額が1億8,

795万8,565円で決算を終えております。

223ページ、水道使用料徴収実績調であります。陸別地区、収入済額5,329万276円、27年度から見ると21万5,433円の増となっております。内訳としては、一般用3,920万6,476円で、6万7,354円ほど減額。収入未済額が1件、1万4,834円。営業用が343万8,560円、前年度から見ると4万2,114円の増。事業用が650万3,160円で、10万9,896円の増。団体用が359万1,516円で、16万4,076円の増。浴場営業用が53万2,140円、前年度から見ると1万6,849円の減。臨時用1万8,424円で、前年度から見ると1万6,450円の減となります。

その下の表、用途別給水戸数、29年3月末現在ですが、一般用が1,023戸、前年度より9戸マイナスです。営業用30戸は前年度と同じ。事業用が42戸、前年度から見ると3戸減。団体用は6戸で同じです。浴場営業用も1で同じ。臨時用はございません。合計1,102戸で、前年度から見ると12戸の減となります。

次のページになります。給水状況調であります。給水量は合計で29万6,635立方メートル、前年度から見ると2,383立方メートルの増。1日平均給水量813立方メートルですが、前年度から見ると9立方メートルの増。給水人口2,223人ですけれども、前年度から見ると38人の減。1日給水量が366リットルで、前年度から見ると10リットルの増となっております。

それでは、歳入、208ページをお開きください。

歳入、1款使用料及び手数料、使用料、水道使用料5,329万276円。収入未済1件、1万4,834円ですが、8月末に9,374円入金となっております。手数料の水道手数料、設計手数料13万6,000円は、給水装置新設工事審査11件、8万8,000円、給水装置その他工事審査12件、4万8,000円の内訳です。

国庫補助金、簡易水道事業補助金576万7,000円は機器更新の補助金。

繰入金、他会計繰入金の一般会計繰入金8,369万8,000円で、前年度から見ると1,345万8,000円の減。建設改良分で5,214万8,000円。財政対策分で3,155万円の内訳となっております。前年度繰越金が381万5,552円。

諸収入の雑入で127万6,255円、内訳は、下水道料金の事務負担金55万2,655円、これは下水道会計から入ってくるお金です。消火栓整備等補償費72万3,600円が内訳であります。

町債は、簡易水道事業債4,440万円、過疎債が2,220万円、簡易水道事業債が2,220万円となっております。

収入済額1億9,238万3,083円、収入未済額が1万4,834円で終えております。

次、歳出に移ります。

212ページです。総務費、一般管理費、中身としては、職員人件費、給料、手当、共

済費、1名分の人件費で、手当の不用額43万7,485円は、時間外勤務手当が41万5,034円が主な内容であります。委託料150万4,664円の中には、水道料金収納業務124万7,784円を含んでございます。公課費120万4,100円、消費税分ですが、平成27年度分の消費税61万4,100円、28年度分の中間納付額が59万円の内訳です。

2款施設費、施設維持費、主要事業はここに記載のとおりであります。需用費で67万2,336円の不用額。消耗品費で20万5,649円、光熱水費で13万4,715円、修繕料で33万1,972円の不用額となっております。

それから、214ページにも主要事業として、工事関係を載せてございます。委託料で266万6,272円の不用額、管路等修繕で127万8,000円、水道メーター取りかえで110万7,182円、施設保全作業で24万2,360円が主な内容です。

備品購入費359万7,696円。内訳としては、更新用水道メーターが137個、256万8,132円。新設用メーターが35個、63万2,124円。水道メーター器用無線端末10台、16万2,000円。除湿器1台、23万5,440円の内訳であります。

施設新設改良費、事業内容は表の記載のとおりであります。工事請負費としては、上から3行目、配水管布設替工事から、次の配水管新設、旧パロマ地先消火栓更新工事1基。そして一つ飛んで、機器更新工事159万8,400円から826万2,000円、これら工事を合わせたものが5,060万8,800円となります。

公債費は、資料ナンバー20に起債残高推移をつけておりますので、後ほどごらんいただきたいと思っております。

元金で7,461万8,949円。利子で2,711万3,180円。

支出済額合計が1億8,795万8,565円で歳出を終えております。

218ページ、28年度簡易水道事業特別会計決算書実質収支に関する調書。

歳入総額1億9,238万3,000円、歳出総額1億8,795万8,000円、差し引き442万5,000円、実質収支額が442万5,000円であります。

以上で、議案第73号を終わりました。議案第74号に移ります。

議案第74号平成28年度陸別町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定についてであります。

説明資料239ページをお開きください。これは目次でありますので、240ページ、第1表、平成28年度歳入歳出決算の総括。

予算額1億4,265万8,000円、決算額、歳入1億4,319万1,301円、歳出1億4,052万6,554円、歳入歳出差し引き266万4,747円、これは29年度への繰越金となります。歳出執行率98.5%であります。

第2表、歳入実績最近年度比較表であります。分担金及び負担金で、28年度145万円、前年度より55万円の増。使用料及び手数料で2,554万4,817円で、前年度から見ると27万3,145円の増。収入未済額1件、9,685円あります。収入済額合

計が1億4,319万1,301円であります。

歳出、次のページであります。

総務費から予備費まで、合計で1億4,052万6,554円であります。

第4表が下水道使用料徴収実績調で、陸別処理区、収入済額が2,549万2,817円、前年度から見ると26万9,145円の増。収入未済額9,685円で、1件であります。一般用で、収入済額2,515万8,089円。一般用で未収が9,685円。公衆浴場用で33万4,728円。合計収入済額が2,549万2,817円。収入未済額が1件、9,685円であります。

処理状況、29年3月末現在ですが、処理人口1,873人、前年度から見ると63人の減。水洗化人口1,691人、前年度から見ると55人の減。水洗化率90.3%、前年度から見ると0.1%の増であります。

それでは、歳入の228ページをお開きください。

228ページ、歳入であります。1款分担金及び負担金、1項分担金、1目下水道事業分担金で145万円ではありますが、55万円の増であります。内訳としては、27年度24戸分で60万円、28年度分23戸で57万5,000円、28年度、前納分で11戸、27万5,000円の内訳であります。

使用料及び手数料で、下水道使用料2,549万2,817円の収入済額、前年度から見ると26万9,145円の増。未収1件、9,685円ですが、8月末までに6,106円の入金がございます。

手数料、下水道手数料ですが5万2,000円、これは排水設備新設工事審査分6件、4万8,000円、排水設備その他工事審査分1件、4,000円であります。

国庫支出金、下水道事業補助金1,560万円、これは社会資本整備総合交付金であります。

繰入金、一般会計繰入金8,571万8,000円あります。内訳としては、建設改良分が16万4,000円、分流式下水道分が2,525万5,000円、財政対策分が6,029万9,000円あります。

繰越金が167万8,484円。

町債、下水道事業債が1,320万円。過疎債が660万円。下水道事業債660万円あります。

収入済額1億4,319万1,301円で決算を終えております。

次に、歳出に移ります。

1款総務費、一般管理費で1,116万1,830円。職員人件費、2節、3節、共済費、1名分の人件費。職員手当で34万9,752円の不用額、これは時間外勤務手当32万9,510円が主な内容であります。19節負担金補助及び交付金で62万8,385円、この中身としては、下水道料金の事務費負担金55万2,655円がこの中に含まれてございます。簡易水道会計への負担金であります。27節の公課費56万500円、消

費税ですが、27年度分の消費税になります。

2款施設費の施設維持費、主要事業についてはこの表に記載のとおりであります。委託料で41万2,125円の不用額がございますが、施設設備改修で23万5,680円、管渠清掃で10万円、下水道メーター取りかえで5万745円、浄化センター管理入札執行残2万3,552円が主な内容であります。工事請負費280万8,000円は、この232ページの事業の中の4行目、浄化センター照明器具LED化改修工事280万8,000円が工事請負費であります。

3款事業費、下水道建設費、事業内容についてはこの記載のとおりであります。まず、実施設計である浄化センターの汚泥脱水機長寿命化工事に係る調査、特定環境保全公共下水道事業計画変更委託業務、合わせて、13節38万8,800円と362万8,800円、委託料で401万7,600円。その下、機器更新から下の汚水柵設置等附帯工事まで、15節になります。工事請負費2,742万1,200円であります。

公債費につきましては、資料ナンバー20に起債残高推移等がありますので、後ほどごらんいただきたいと思います。元金が3,475万8,172円、利子が986万2,593円、予備費は未執行であります。

支出済額1億4,052万6,554円で決算を終えております。

238ページ、28年度公共下水道事業特別会計決算書実質収支に関する調書。

歳入総額が1億4,319万1,000円、歳出総額が1億4,052万6,000円で、歳入歳出差引額が266万5,000円、実質収支額が266万5,000円であります。

以上で、議案第74号の説明を終わりました、議案第75号の説明に移ります。

議案第75号平成28年度陸別町介護保険事業勘定特別会計歳入歳出決算認定について。

資料の272ページをお開きください。これは目次になりますので、次の273ページになります。第1表、28年度歳入歳出決算の総括であります。

予算額3億542万7,000円、決算額、歳入3億480万2,687円、歳出2億9,538万2,706円、歳入歳出差引額941万9,981円、これは29年度への繰越金となります。なお、介護保険会計における繰越金の精算については、今定例会の補正予算において精算をしたところであります。歳出の執行率は96.7%であります。

第2表、歳入実績最近年度比較表であります。介護保険料、28年度4,826万9,858円、52万2,153円の増であります。不納欠損6万9,300円、3人、3件です。収入未済額44万6,380円、11人の11件になります。国庫支出金から諸収入まではここに記載のとおりでありまして、合計収入済額が3億480万2,687円、前年度から見ると345万985円の増であります。不納欠損が6万9,300円、収入未済額が44万6,380円あります。

第3表、歳出実績最近年度比較表については、ここに記載のとおりでありますので、後ほどごらんいただきたいと思います。

第4表の介護保険料収納額調で、現年度賦課額と滞納繰越分がございます。現年度分は、調定額4,829万7,095円に対して、収入済額が4,816万6,765円で、収入未済額が13万330円、4人、4件分。滞納繰越分で、調定額48万8,443円、収入済額が10万3,093円、不納欠損額が6万9,300円、3人、3件、収入未済額が31万6,050円、7人、7件であります。したがって、現年度分と滞納繰越分の収入未済額の件数の合計は11人の11件でございます。

それでは、決算書の249ページをお開きください。

歳入ですが、資料ナンバー40-1、2に介護保険事業勘定特別会計の実施状況をつけておりますので、後ほどごらんいただきたいと思っております。

1款介護保険料、1目の第1号被保険者保険料、3月31日現在の被保数は895人あります。27年度から見ると12人の減となります。現年度分で4,816万6,765円、54万7,760円の増であります。内訳としては、普通徴収分が340万3,175円、特別徴収分が4,476万3,590円の内訳であります。収入未済額13万330円、4人、4件分です。このうち8月末までに1人、1件、1万8,120円の入金があります。滞納繰越分10万3,093円、不能欠損額が6万9,300円、3人、3件。収入未済額が31万6,050円、7人、7件であります。このうち8月末までに1人、1件、2万6,460円が入金となっております。

国庫支出金で、そのうち国庫補助金の2目の地域支援事業交付金、現年度分で262万8,670円、194万5,100円の増ありますが、内訳としては、介護予防日常生活支援総合事業が118万600円。同じく介護予防日常生活以外の地域支援事業で144万8,070円の内訳です。事業費補助金は22万円、これはシステム改修に係る補助金。

道支出金のうち、2項の道補助金、地域支援事業交付金、現年度分136万8,160円、これについては、介護予防日常生活支援総合事業64万4,125円。同じく介護予防日常生活以外の地域支援事業分72万4,035円の内訳となっております。

支払基金交付金は、ここに記載のとおり。

財産収入の利子及び配当金は、基金利子1,542円であります。

繰入金、一般会計繰入金ですが、まず介護給付費繰入金が3,456万9,000円、事務費繰入金が838万2,000円、地域支援事業繰入金124万4,000円、介護予防日常生活支援総合事業が51万5,000円、同じく介護予防日常生活以外の地域支援事業分が72万9,000円、低所得者保険料軽減繰入金63万7,000円は、国が2分の1、31万8,990円、道が4分の1、15万9,495円、町4分の1、15万8,515円の内訳となっております。

基金繰入金ですが826万5,000円。資料ナンバー19に基金別の推移をつけておりますので、後ほどごらんいただきたいと思っております。

繰越金が1,152万1,215円。

諸収入の延滞金及び過料の第1号被保険者延滞金、第1号被保険者過料は科目存置になります。同じく、次のページ、預金利子、雑入のうち滞納処分費、第三者納付金、返納金は科目存置であります。

4目雑入、1節の雑入65万6,997円の内訳としては、介護扶助審査判定業務24万1,600円、社会保険料個人負担分が38万1,515円、総合事業利用者負担金が3万3,882円の内訳となっております。

収入済額が3億480万2,687円、不納欠損が6万9,300円、収入未済額が44万6,380円となっております。

以上で、歳入を終わりました。歳出、次のページになります。

歳出、1款総務費、一般管理費、共済費77万3,396円、賃金166万6,757円、これについては、臨時介護支援専門員の賃金に係る人件費であります。それ以下は例年どおりの執行であります。

賦課徴収費については例年どおりの執行であります。

介護認定審査会費の役務費の75万8,320円は、主治医の意見書料74万320円を含んでございます。19節負担金補助及び交付金の197万100円は、池北三町の介護認定審査会の負担金になります。

認定調査費の委託料72万1,160円は、要介護認定調査委託でありまして、包括直営分が173人、委託分が3人、施設分が6人、合わせて182人になります。

保険給付費、まず居宅介護サービス給付費1億1,798万1円ですが、第6期計画では、延べ1,572人でしたが、実績では1,337人ということで、235人の減となります。次に、居宅介護サービス計画給付費774万7,620円ですが、計画では、延べ516人ですが、実績として557人、41人の増であります。

3目の施設介護サービス給付費1億1,185万8,102円ですが、計画では、延べ420人ですが、実績では517人、97人の増であります。

4目の居宅介護福祉用具購入費17万4,303円ですが、計画では6件、実績では5件、マイナス1件でございます。

5目の居宅介護住宅改修費41万2,056円、計画では5件ですが、実績は4件ということで、マイナス1件。

2項の介護予防サービス等諸費、1目の介護予防サービス給付費562万668円。計画では延べ432人を見ましたが、実績は301人ということで、131人の減。

次のページ、介護予防サービス計画給付費108万円は、計画では240人、実績も同様の240人です。

3目の介護予防福祉用具購入費23万8,361円、計画5件の実績も5件であります。

介護予防住宅改修費35万820円、計画では4件ですが、実績は2件ということで、マイナス2件。

4項の高額介護サービス等費で、1目の高額介護サービス費403万5,455円は、実質43人であります。

一つ飛んで、高額医療合算介護サービス費の224万2,288円は、実質57名分でございます。

次の高額医療合算介護予防サービス費1,574円は、実質1名分。

6項の特定入所者介護サービス等費、特定入所者介護サービス費1,804万6,873円は、実績で491人であります。前年度から見ると83人の増であります。

一つ飛んで、特定入所者介護予防サービス費1万699円、延べ3名であります。

地域支援事業費、1項の介護予防・生活支援サービス事業費、1目の介護予防・生活支援サービス事業費、委託料33万8,820円は、訪問型サービスAの9月分からのNPOへの委託、延べ129人分であります。

負担金補助及び交付金290万3,572円は、第1号事業給付費で国保連への支払いであります。

介護予防ケアマネジメント事業費、委託料4万7,300円、北勝光生会への11件分でございます。

一般介護予防事業費、委託料8万円は、社協へのふれあいふまねっと運動48回分。使用料及び賃借料は複写機使用料12万円であります。

次、包括的支援事業・任意事業費、1目の包括的・継続的ケアマネジメント支援事業費、13節委託料24万5,900円は、介護予防サービス計画作成委託で、北勝光生会が40件、町居宅介護支援事業所が8件、町外居宅が5件、合わせて5事業所53件であります。

任意事業費、委託料106万1,150円、これはNPOへの介護教室10万円、社協への介護用品給付38万400円、これはおむつです、347個分。配食サービス58万750円、配食1,345食、この二つは社協への委託となります。

267ページ、基金積立金ですが、477万3,161円。資料ナンバー19に、各基金の増減の推移がございます。後ほどごらんいただきたいと思います。

諸支出金の第1号被保険者保険料還付金、23節2万1,765円ですが、過年度分の還付5件分であります。介護給付費負担金等返還金、23節674万9,596円ですが、これは27年度分の精算に伴う国、道等への返還金として、介護給付費と地域支援事業分を合わせた額になりますが、国には181万4,882円、北海道には125万4,426円、支払基金に134万9,977円、一般会計に233万311円の合わせて674万9,596円の精算に伴う返還となります。

予備費の充当はございません。

支出済額2億9,538万2,706円で歳出を終わっております。

271ページ、28年度陸別町介護保険事業勘定特別会計決算書実質収支に関する調書。

歳入総額 3 億 4 8 0 万 2, 0 0 0 円、歳出総額 2 億 9, 5 3 8 万 2, 0 0 0 円、歳入歳出
差引額 9 4 2 万円、実質収支額 9 4 2 万円であります。

以上で、議案第 7 5 号の説明を終わりました、次、議案第 7 6 号の説明に移ります。

議案第 7 6 号平成 2 8 年度陸別町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について。

2 8 9 ページをお開きください。これは目次になりますので、2 9 0 ページ、第 1 表、
平成 2 8 年度の歳入歳出決算の総括です。

予算額 4, 0 3 2 万円、決算額、歳入 3, 9 8 4 万 6 9 4 円、歳出 3, 9 8 4 万 6 9 4 円
で、歳入歳出同額の決算となっております。

第 2 表、保険料収納額調、2 8 年度は、調定額 2, 2 7 9 万 1, 4 0 0 円に対して、収入
済額 2, 2 7 9 万 1, 4 0 0 円で、1 0 0 %の収納率であります。

第 3 表、歳入実績最近年度比較表ですが、まず、後期高齢者医療保険料、2 8 年度分は
2, 2 7 9 万 1, 4 0 0 円、4 4 万 4, 9 0 0 円ほど増となっております。以下、ここに記
載のとおりであります。

第 4 表、歳出実績最近年度比較表についても、ここに記載のとおりで、歳出総額は 3,
9 8 4 万 6 9 4 円となります。総務費が 9 8. 2 %の執行率。広域連合納付金が 9 9. 9 %
の執行率。諸支出金が……。予備費が未執行で、3, 9 8 4 万 6 9 4 円の支出となりま
す。

それでは、2 7 8 ページをお開きください。歳入ですが、資料ナンバー 4 1 にフロー図
をつけておりますので、後ほどごらんいただきたいと思います。

1 款後期高齢者医療保険料ですが、被保数、2 9 年 3 月 3 1 日現在で 5 4 4 人でありま
す。2 8 年 3 月 3 1 日現在から見ると 2 名の増となります。特別徴収保険料は 4 5 9 人、
普通徴収保険料が 1 9 8 人、この内 7 5 人が重複しております。特別徴収保険料、現年度
分で 1, 2 0 2 万 9, 3 0 0 円、普通徴収分で 1, 0 7 6 万 2, 1 0 0 円であります。

繰入金、他会計繰入金で事務費繰入金 2 7 4 万 8, 2 3 7 円、これは広域連合事務費分
が 1 3 6 万 1, 0 0 0 円、町単独事業分が 1 3 8 万 7, 2 3 7 円。内容としては、インフル
エンザ分が 8 5 万 1, 8 6 0 円、事務費分が 5 3 万 5, 3 7 7 円であります。

保険基盤安定繰入金 1, 3 6 9 万 2, 7 5 9 円。北海道の 4 分の 3 分、1, 0 2 6 万 9, 5
6 9 円、町の 4 分の 1 分、3 4 2 万 3, 1 9 0 円であります。

5 款諸収入の 2 項の償還金及び還付加算金、2 目の保険料還付金 1 万 7 0 0 円、これは
6 人分です。歳出と同額になります。

雑入 3 4 万 7, 5 9 8 円、広域連合からですが、健診の委託料であります。

6 款の広域連合支出金 2 5 万円。これは、すこやか推進事業交付金でありまして、イン
フルエンザの予防接種に対する補助金であります。

次のページ、歳入は、調定額 3, 9 8 4 万 6 9 4 円に対して、収入済額、同額の 3, 9 8
4 万 6 9 4 円であります。

次、歳出に移ります。

1 款総務費、一般管理費、13 節委託料 150 万 1,523 円。健康診断 42 万 8,694 円、58 人分。インフルエンザ予防接種 106 万 2,000 円、354 人分。共同電算事務 1 万 829 円。19 節の 3 万 9,860 円は、インフルエンザ予防接種の助成金 13 名分であります。

2 款の後期高齢者医療広域連合納付金 3,784 万 5,159 円。

3 款の諸支出金、保険料還付金 1 万 700 円は 6 人分、歳入と同額であります。

予備費は未執行でございます。

支出済総額 3,984 万 694 円であります。

288 ページ、平成 28 年度陸別町後期高齢者医療特別会計決算書実質収支に関する調書であります。

歳入総額 3,984 万 1,000 円、歳出総額 3,984 万 1,000 円で、歳入歳出差引額ゼロで決算を終えております。

以上で、議案第 70 号から議案第 76 号までの説明を終わります。

以後、御質問によってお答えをしたいと思いますので、御審議のほどよろしくお願ひ申し上げます。

以上です。

○議長（宮川 寛君） 副町長におかれましては、大変お疲れさまでした。

平成 28 年度各会計の決算について、監査委員の意見書が配付されておりますが、代表監査委員が出席されておりますので、意見書の内容に不明な点があれば、この際、質疑を許します。ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（宮川 寛君） 質疑なしと認め、監査委員に対する質疑を終わります。

平成 28 年度各会計の決算認定にかかわる質疑、討論、採決は、本定例会初日の決定のとおり、第 11 日目の 9 月 22 日に行います。

◎延会の議決

○議長（宮川 寛君） お諮りします。

本日の会議は、これで延会し、特別の事情がない限り、21 日までは休会といたします。

御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（宮川 寛君） 異議なしと認めます。

◎延会宣告

○議長（宮川 寛君） 本日は、これにて延会いたします。

延会 午後 3時27分